



病気を予防し 次の世代を守り 豊かになる

2021-2025年
投資機会



目次

予防、保護、繁栄	3
目的の明確なパートナーシップ	6
支援国のリーダーシップの下で	8
予防接種を通じた健康な次世代の育成	11
プライマリ・ヘルスケアシステムの強化および拡張	13
イノベーションの拡大	17
健康不安から世界を守る	21
公平な繁栄を築く	24
市場形成を推進する	25
ドナーからの支援で可能に	26
リスクの緩和	29
大胆な目標達成に向けた連携	31
文末脚注	32
<hr/>	
付録 1: Gaviアライアンスのメンバー	34
付録 2: 持続可能な開発目標へのGaviの貢献	35
付録 3: Gaviが支援するワクチンが有効な疾患	37
付録 4: 国の需要を満たすための支出	39
付録 5: 各国のGaviワクチンの推定需要	40
付録 6: 2021～2025年における国別のGaviワクチンの推定需要	41
付録 7: 2021～2025年のGaviの確定資金	42
付録 8: IFFImとワクチン債	44
付録 9: Gaviドナー	45



Gaviワクチンアライアンスが2000年に設立されたとき、世界中で毎年約1000万人の子どもが5歳の誕生日を迎える前に亡くなっていました。2017年までに、この数はほぼ半分になりましたⁱ。特に、低所得国では毎年生まれる子どもの数が同期間で10%増加し、アフリカではほぼ40%増加したことを考えると、これは20年足らずで起こった驚異的な変化ですⁱⁱ。予防接種は、子どもの死亡率のこうした著しい低下に大きく寄与しているといえます。

ワクチンへのアクセスの改善により低所得国の数百万人の人々の生活が大きく変わりました。Gaviは2018年の中間レビュー会合の時点でランドマークを通過し、Gaviの発足以来、7億6千万人の子どもにワクチン接種をして一世代を保護してきましたⁱⁱⁱ。

数百万人の生活を変えた飛躍的な結果は、ワクチンのポートフォリオでコミュニティを保護することにより達成されました。ワクチンで予防可能な疾患による子どもの死亡は、2000年以降、70%減少しています^{iv}。

かつて死に至る可能性のある急性の下痢に苦しむ子どもたちでいっぱいだった病棟は、ロタウイルスワクチンの導入により、空となりました。また、肺炎に対するワクチンの急速な導入は、子どもの最大の死因の一つへの取り組みであり、薬剤耐性（AMR）の拡大を食い止めています。ポリオの症例である衰弱などの明白な影響は、ほとんど過去のものとなっており、HPVワクチンの普及により、多くの女の子が保護されるようになりました^v。

Gaviアライアンスの活動を通じ、過去18年で、富裕層と貧困層間の人生の可能性の格差は縮まりました。予防接種によって教育上の利益が向上し、発育阻害が減少し、IQが上昇しています。

Gaviアライアンスおよびそのパートナーの支援により各国は、ワクチンのおかげで、子どもや大人を不必要に死に至らせ、流行が発生したコミュニティに大打撃を与えてきた疾患から保護する機会を手に入れています。人々はかつてないほど予防接種を受けられるようになっていますが、これまでに得られたものを積み上げて発展を加速するための努力を強化する必要があります。今こそ行動しなければなりません。

「毎年1億4,000万人を超える子どもたちが世の中に生まれてきています。世界を安全な場所にし、予防可能な疾患による負担から家族を解放し、次世代が生き生きと人生を送れるようになってほしいと願うなら、子どもたち一人一人をワクチンで保護するために国内および国際的な投資が必要です。」

Ngozi Okonjo-Iweala
Gaviワクチンアライアンス理事長

人口増加や強制移住、気候変動や脆弱性の増加と、繰り返される疾患の流行により、苦勞して達成したこれらの利益が脅威にさらされています。今こそ現状に満足することをやめ、各国が疾病予防、コミュニティの保護、そして繁栄に向けたコミットメントを新たにするための支援をすべき時です。

人口の増加はワクチン接種率の上昇に次のような課題をもたらします。2018年、Gaviの支援国はジフテリア-破傷風-百日咳（DTP3）¹ ワクチンの3回の予防接種を2015年と比較して4%多くの子どもたちに行いましたが、人口の増加により、接種率は1%しか上昇しませんでした^{vi}。結果として、基本的なワクチン接種率の目標は順調には達成されていないこととなります。完全に回避できる死であるにも関わらず、毎年、150万人がワクチンで予防可能な疾患により死亡しています^{vii}。

紛争や政治的に不安定な環境、移民などの理由から、必要な予防接種が行われていないコミュニティへのアウトリーチは未だに大きな課題です。人々は気候変動、戦争、都市化、或いは彼らが遊牧民のコミュニティに属しているなどの理由で移動しますが、いずれにしても結果は同じです。国内避難民の大きな集団は多くの場合予防接種を全く、或いは部分的にしか受けていません。従って、彼らが非常に混み合った状態にいることそのものが、潜伏期間があり、かつ非常にスピードで広がる危険な感染症の流行を発生しやすくしているのです。

緊急の対応が必要です。今こそ、Gaviが苦勞して手に入れた利益をさらに発展させるため、予防接種によって、そうしたコミュニティに対する支援を強化する時です。

2021～2025年の期間、Gaviはアライアンスの歴史上最も包括的な保護パッケージを最も貧しい国々に提供します。Gaviの支援を受ける各国の主体的努力のもと、Gaviは独自の移行モデルとワクチンの供給保証を向上させるためのさらなる市場形成努力を通じて、長期的な持続可能性を促進します。

予防接種を行っていないコミュニティは、社会の最も隅に追いやられていることが多く、接種回数ゼロの子どもの3人に2人が貧困ラインを下回っています^{viii}。また他の基本的な医療サービス、情報、または医療品を入手する可能性が著しく低くなっています。Gaviはラストマイルを優先し、国レベルと地方レベルの両方で公平に実施されるプライマリ・ヘルスケアサービスを提供するために必要なプラットフォームの設置を支援します。このように予防接種は、持続可能な開発目標 (SDGs)、主に全ての人々の健康的な生活および福祉の推進というSDG3の達成に向けた重要な役割を果たしています。

予防接種にアクセスできないこのようなコミュニティは、死に至る感染症の地域的、あるいは世界規模の流行の発生源になりかねません。人間の移動が大幅に増加したことを考慮すると、**疾患の大流行は**これまでに**苦勞して手にした利益を危険にさらし**、世界の健康の安全性を脅かす可能性があるのです。Gaviは、疾患流行に対する最良の防御である定期的な予防接種や緊急用の備蓄による最前線の防衛を通じて、疾患の大流行から世界を守る支援をし、ポリオのない世界に貢献します。

予防接種を行うコミュニティはより健康になり、教育の質が向上し、家計が強化され、次世代は男女ともに平等に社会のより生産的な一員となります。**予防接種におけるジェンダーに配慮したアプローチをとれば、男性も女性も子どもたちへの予防接種により積極的になるでしょう。**グローバルに見ると、予防接種へのアクセスに関しては女兒と男児の間に大きな差はありません。しかし、彼らが予防接種を受ける可能性は、母親や養育者が直面したジェンダーの障壁に左右されます。^{ix}

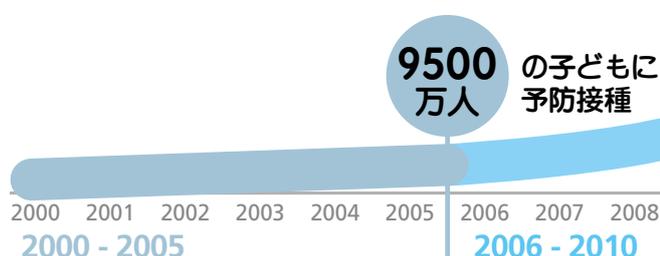
予防と保護への投資は**繁榮**につながります。**予防接種に1ドル投資するごとに、生涯通算で54ドルにのぼる広義の社会的利益が出じます^x。**

ドナーの資金を活用し、国を支援し、持続可能な市場を形成するために連携すれば、2021年から2025年の間にさらに3億人の子どもに手を差し伸べることができ、歴史上最も広範なワクチンポートフォリオを提供することで、さらに700万から800万の命を救うことができます^{xi}。

皆様のご支援により、この野心的なプログラムは現実的で実現可能になります。手を携え、十分な支援を受ければ、我々はドナーにとって史上最低のコストでより大きなインパクトをより効率的に与えることが可能です。

次の戦略期間はGaviの歴史の転換点となる重要なものとなるでしょう。今までの努力の結果、多くの国では持続可能な予防接種の体制を作るための基盤ができています。今必要なのは、未だに予防接種を受けられずにいる子どもたちにワクチンを届けられるよう、新しい考え方や革新的テクノロジーで今も残っている課題を乗り越えることなのです。

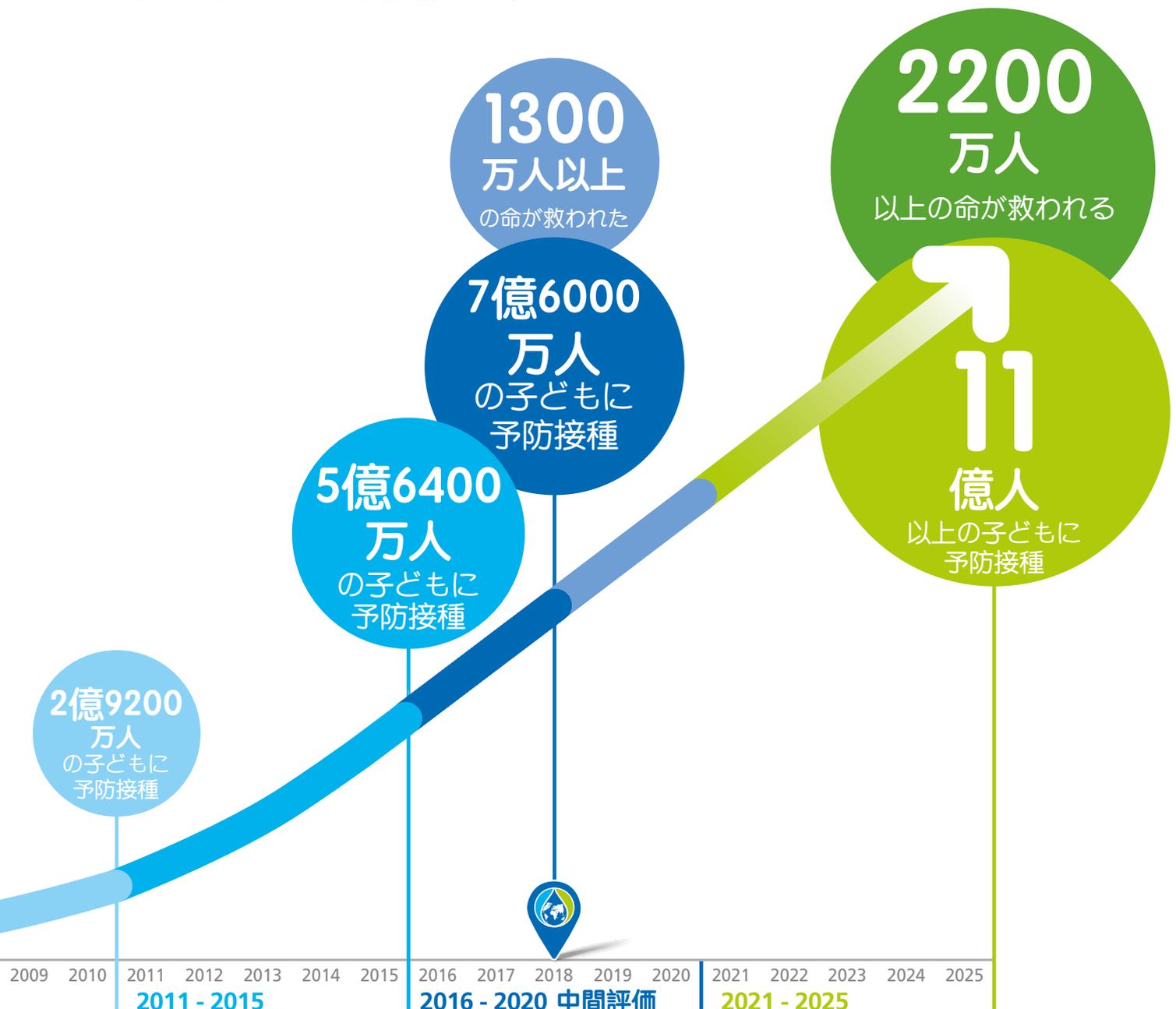
予防、保護、繁榮：この野心的な計画を実現するため、Gaviには2021～2025年の期間に74億米ドル以上の追加資源が必要となります。



2021～2025年の間にGaviは：

- 各国がワクチンを自国予算で調達できるようにし、新たに**10カ国**が確実に自己資金調達できるようになる^{xii}。
- 国内の協調融資プログラムや自己資金によるワクチンプログラムを行うことにより、**36億米ドル**の資金を募る^{xiii}。
- 今までの成果を維持するため、Gaviの支援から移行した**18カ国**に引き続き限定的な支援を行う。
- さらに**800～1000億米ドル**の経済的利益をもたらす^{xiv}。
- 少なくとも**5つ**のワクチンの市場において、製薬会社間の競争とワクチンの供給能力を確保する。^{xv}。
- Gaviの支援対象である**55カ国**に**32億回**以上の命を救うワクチンを届ける^{xvi}。
- 予防接種を通じて、家族と保健サービスとの間に**14億**にのぼる接点を作る^{xvii}。
- 世界ポリオ撲滅イニシアチブ(GPEI)と連携し、Gavi支援国全体において不活化ポリオワクチン(IPV)の定期接種を実施することで、世界におけるポリオの再発生を防ぐ。
- 危険な疾患の大流行を阻止するため、緊急用のワクチン備蓄に資金提供する。

> 図1 2025年までの累積予防接種数と救われる命の数



目的の明確なパートナーシップ

パートナーシップはGaviモデルの中心です。ワクチンアライアンスのメンバーとパートナーの数は現在までに著しく増加しました。Gaviはまた、「すべての人に健康な生活と福祉を保障するための世界行動計画 (Global Action Plan for Healthy Lives and Well-Being for All)」の策定にも積極的に取り組み、世界的な連携の新時代の促進に一役買っています。

2000年に設立されたGaviは、グローバルな予防接種のすべてのステークホルダーを代表する官民パートナーシップです。Gaviのモデルには、支援国の指導者、ユニセフ、WHO、世界銀行、アメリカ疾病管理予防センター (CDC)、および研究機関の専門的スキル、ワクチン製造業者の研究・生産能力、民間部門、ドナー国政府、およびビル&メリンダ・ゲイツ財団のノウハウと支援、ならびに世界中の市民社会組織が持つ予防接種の提供とアドボカシーのスキルが組み込まれています。Gaviはまた、公的部門、民間部門、社会組織といったパートナーのコミュニティと連携しそれぞれの専門性を集約し、人生を変えるイノベーションを実用化します。

Gaviアライアンスのモデルは、ワクチンの協調融資を行う実施国によって推進され、コミュニティで予防接種を確実に行うために国内資源を投資しています。Gaviアライアンスの他のパートナーは、技術、運用、およびアドボカシーの支援を提供しています。

市民社会組織 (CSO) とのパートナーシップは、国家レベルでの予防接種への政治的コミットメントを強化するのに役立っています。コミュニティとつながることで、多くのCSOは独自の立場を活かして予防接種の障壁を特定して克服し、ワクチンの需要を創出し、その信頼度を高め、最も力の弱い人々にサービスを提供します。更に彼らの声を届けることで政府の意思決定に寄与すると共に、その説明責任を明確にするのです。

Gaviアライアンスの各パートナーは、独自の専門分野にもとづいて、誰もが予防接種を受けられるようにするというGaviの使命を支援しています。ジュネーブおよびワシントンDCに拠点を置くGavi事務局は、アライアンスのパートナーの活動を調整し資金調達、監視、評価を確実にし、責任を明確化します。Gaviのモデルの決定的な特徴は、柔軟で変化する環境や状況に適応し、パートナーの独自の能力を活用できることです。

予防接種の主なステークホルダーを代表するGavi理事会は、Gaviの権限を遂行するために必要な戦略、ポリシー、およびアプローチを審議し、決定します。この結果が大規模に稼働する予防接種プラットフォームとなって、世界中の新生児の約半数がワクチンを接種できるようになり、予防接種関係者が個々に活動する場合より経費を抑え、規模の効率性が高まるのです。

20年以上にわたり、Gaviは前例のない成功を収めてきました。Gaviは、パートナーシップと連携の力を示し、各機関の成果を合計した以上のものを達成したのです。

国々の主導により、**Gaviの連携モデルは拡大し発展し続けます。** ワクチンと予防接種のためのワクチンアライアンスの包括的アプローチは、コミュニティと市民社会をさらに関与させ、公共部門、民間部門、市民社会といったパートナーのエコシステムの成長を促進し、各国自らが特定したニーズに対処するための専門知識と能力をもたらします。

アライアンスには、個々の力を合わせた以上の成果を上げるためのパートナーシップと連携の力があります。



Gavi/2009/Olivier Asselin

2018年10月、Gaviは他の世界的な保健組織や開発組織とともに、世界規模の健康に関わる主要な組織間の連携をより計画的かつ体系的にするという画期的な公約に署名しました。WHOによって調整された「すべての人に健康な生活と福祉を保証するための世界行動計画 (Global Action Plan for Healthy Lives and Well-Being for All: GAP)」は、保健関連の持続可能な開発目標の達成に向けた進展を加速することを目的としています。

これによりGaviは、12の主要な多国間機関の連携をさらに強化して具体的な成果を出す上で主導的な役割を果たしています。Gaviは、世界銀行および世界エイズ・結核・マラリア対策基金と協力して、持続可能な資金に関するGAPの共同推進役をとめ、各国が健康のための資金の流通、配分、および使用を迅速に改善できるようにするために、よりよく連携する方法を見つける手助けをします。

Gaviはそのモデルの中核にパートナーシップを据えています。GaviがGAPに貢献するのは、その原則にもとづいているからです。

Gaviは世界エイズ・結核・マラリア対策基金と、各国において様々な分野で緊密に連携しています。連携は多岐に亘り、データやサプライチェーンなど保健システムにおける重要課題への対応、ユニットエイドとも協力して行っているマラリアワクチンのパイロット事業、そしてジュネーブにあるグローバルヘルスキャンパスに置かれた共同本部でのサービスの共有や運営などを含みます。

目的の明確なパートナーシップは、最近設立されたグローバル・ファイナンス・ファシリティ (GFF) にも及んでいます。GaviはGFFの「出資者グループ」に参加し、毎年世界で最も貧しい人々の間でいまだに500万人を超える母親、新生児、子どもが亡くなっているという課題に取り組むための調整を行います。Gavi、世界エイズ・結核・マラリア対策基金、世界銀行、およびGFFは、各国との対話をコーディネートし、各国のプライマリ・ヘルスケアの優先事項に必要な資金調達のために調整しています。

Gaviおよび世界ポリオ撲滅推進活動 (GPEI) には独自の補完的な役割があり、命を救うワクチンをすべての子どもが接種できるようにし、ポリオのない世界の達成を促進するために緊密に協力し合っています。連携は2006年始まりました。当時、GaviはIPVを各国に導入する以前の段階にあり、経口ポリオワクチンの備蓄を財政支援しました。GPEIがポリオ根絶の目標に近づき、認証後の時代の土台を築くにつれて、GaviとGPEIは協力関係をさらに深めています。

「すべての人にワクチンがなければ、皆の健康を推進することはできません。」

Tedros Adhanom Ghebreyesus
世界保健機関事務局長

「ユニセフはGaviアライアンスの一員であることを誇りに思っています。私たちは共に、命を救うワクチンを必要とする何百万人もの子どもたちに届けています。予防接種やその他の重要な保健サービス、栄養にかかるサービスを提供するため、様々なプラットフォームやコミュニティ間のネットワーク作りに向けた協力をしています。それによってプライマリヘルスケアのシステムがより強化されるのです。これは、ユニバーサル・ヘルスカバレッジを達成するための重要なステップです。予防接種は公衆衛生における最も費用対効果の高い施策とされています。その予防接種の分野で苦勞して得た成果を失うリスクを冒すことはできません。現状に甘んじて、予防接種へのアクセス、ワクチンの入手可能性に関する障壁をそのままにしておけば、今までの成果を損なうかもしれません。今こそ過去の成果に加えて、イノベーションやパートナーシップを活用し、すべての子供たちにワクチンを届けるためにもうひと押しをすべきです。」

Henrietta H. Fore
ユニセフ事務局長

支援国のリーダーシップの下で

より多くの国々が、ワクチンがもたらす非常に多くの価値を認識して、予防接種へのコミットメントを高め、Gaviの投資を活用するようになっていきます。

2018年のアスタナ会議で採択された国際宣言が示すように、世界中の政府がプライマリ・ヘルスケアの重要性への認識を高めています。これは、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ (UHC) を達成するためのプラットフォームであり、予防接種に対する関与と資金調達が増大している証です。

アフリカ大陸全体で、予防接種は政治的に重要な問題になりつつあります。2017年、アフリカ国家元首は「予防接種に関するアディス宣言 (Addis Declaration on Immunization)」を承認し、命を救うワクチンをすべての子どもたちに届けるという取り組みを再確認し、予防接種に向けた国内投資を増やし続けています。2年後、アディス・アベバで開催された「健康への投資 (Investing in Health)」会議を通じて、さらに大きなコミットメントを行いました。

その先駆的な移行モデルにより、Gaviアライアンスは**各国の予防接種プログラムに対する政府のオーナーシップ**をより大きくする方法を先導してきました。Gaviのモデルは、持続可能性、ワクチンを調達するための国内資源動員、およびGaviの支援からの移行に対する独自のアプローチです。このモデルは、ワクチンプログラムに対する国のオーナーシップを強化し、予防接種に向けて国内の公的資源配分を推進することに大きく成功しています。2016年から2020年までに、特に財務大臣と保健大臣との対話の強化により、各国はより多くの国内資源を予防接種に割り当てて協調融資義務を果たすようになってきました。2018年、**各国はGaviの支援による定期的なワクチン支援への投資に対して1ドル当たり56セントを提供し**、2011年以降44%近くまで増加しました。^{xviii}

各国との協力で培われたGaviの経験は、持続可能な予防接種システムの財政的或いはプログラム上の基盤を築くために強力な政治的コミットメントが必要であることを示しています。プログラムの持続可能性をより注視した投資を行うことで、Gaviは財政的持続性に偏りがちな活動を補完しています。

政治指導者は、プライマリ・ヘルスケアと予防の課題に資源を割り当てる必要性に耳を傾けています。国家レベルでは、財務大臣と保健大臣は予防接種への投資が即時にリターンをもたらすことを認識しています。Gaviは予防接種システムの改善を促進し、予防接種率の低い地域に投資することを検討しているため、連邦制度を持つ大国においては、下位レベルの行政指導の重要性も高まっています。

近い将来、財務大臣を含む政府とGaviの連携は、協調融資の確保から国主導の長期的な持続可能性の推進へと、目に見える変化をもたらすでしょう。

ワクチン事業の持続可能性が最終的にGaviの投資決定を左右し、資金的持続性を支えます。

2016年から2020年にかけて、Gaviの支援を受けた国々は、協調融資および自己資金によるワクチンプログラムに16億米ドルを投資する予定です^{xix}。2021年から2025年の間、これらの国は以前の2倍を超える36億米ドルを確保する見込みとなっています。これは、Gavi支援国による協調融資と、2020年までにGaviの財政支援から順調に移行した国の完全な自己資金投資の両方によって達成されます³。



Gavi/2013/Christ Stowers

Gaviと政府との対話により、Gaviの支援からの持続可能な移行に向けた初期の計画も円滑になりました。仲介的支援により、15カ国がすでに移行しており、Gaviの支援で導入された33のワクチンプログラムが自己資金で運営されています。さらに3カ国が2020年末までに移行すると予想されています。移行した15カ国のすべてが、90%超または前年と同程度のワクチン接種率を維持しています**。

Gaviは順調な移行に引き続き取り組んでいきます。さらに10カ国が2021年から2025年にかけてGaviの支援から移行し、移行国の総数は28カ国となり、73カ国の当初のポートフォリオの40%近くに達すると予想されています。前の期間で学んだ教訓を適用して成功を目指します。

ほとんどの国は、高い予防接種率を保ち資金調達パフォーマンスが順調な状態でGaviの支援から移行しますが非常に特徴的な特定の課題を依然として抱えており、その多くは制度の開発に関係しています。これらの課題には、たとえば、規制機関の能

力の差、ワクチンの調達業務、プログラム運営能力、および一部のワクチンが未だに導入されていないことなどがあります。これらの格差に対処し、後退のリスクを最小限に抑えるため、Gavi理事会は、政治的アドボカシー、焦点を絞った技術支援、イノベーション、市場形成、仲介的な短期の財政支援に焦点を当て、移行後の国々への継続的支援アプローチを導入して新しいワクチン導入を一気に開始することの重要性を認識しています。これは最終的に、予防接種に割り当てられた各国の国内資源のより効率的かつ効果的な使用を促進します。

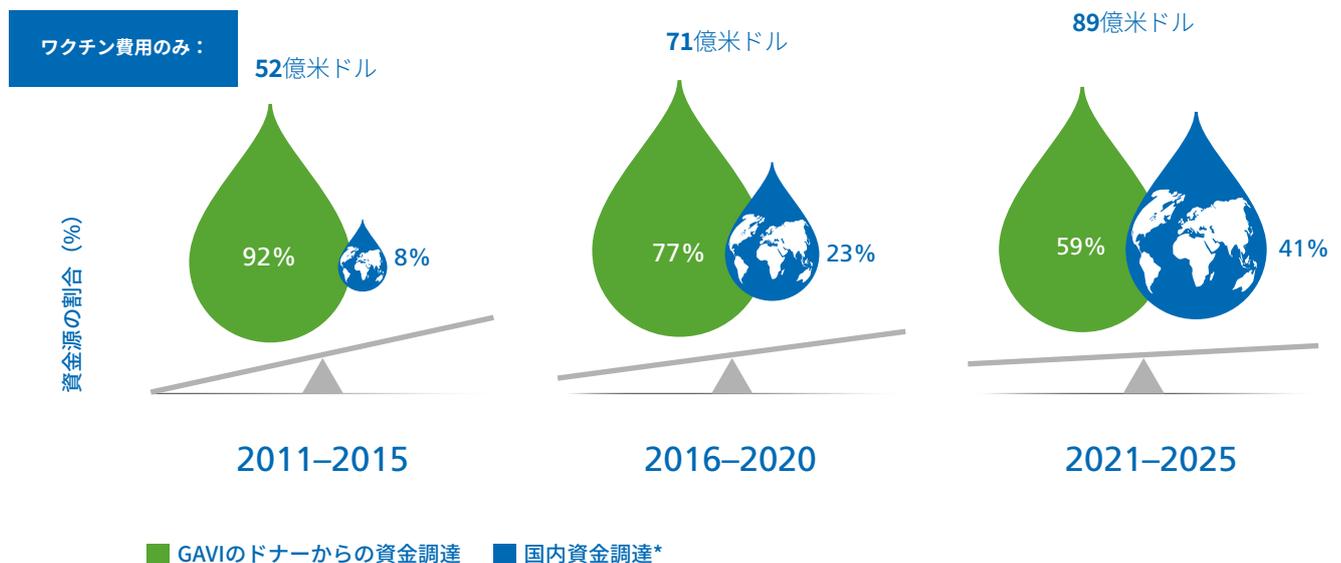
皆様のご支援により、各国は

- 協調融資および自己資金によるワクチンプログラムに**36億米ドル**を提供。
- **10カ国**がGaviの財政支援から持続可能な形で2025年までに卒業します。
- さらに**国内資源動員**を加速します。

「今が、世界中のコミュニティが結集し、あらゆる場所ですべての人々をワクチンで予防可能な疾患から守るGaviの使命を支援する時です。」

-Carlos Agostinho do Rosário
モザンビーク首相

> 図2 GAVIが支援するワクチンに対する国の資金調達の活用



*協調融資、自己資金、インドを含む。



予防接種を通じた健康な次世代の育成

Gaviアライアンスのモデルはこれまでで最も包括的な命を救うワクチンのポートフォリオを提供しています。

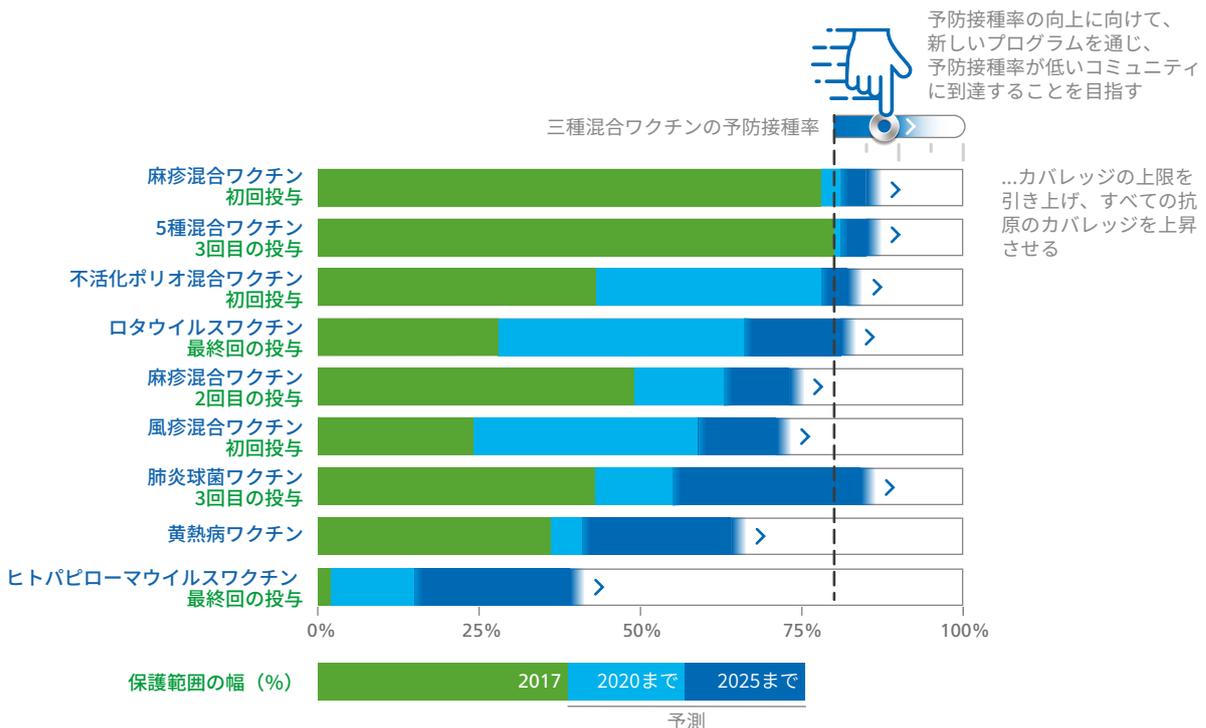
2021年から2025年の期間にGaviはワクチンへのアクセスの不平等に対処するとともに、史上最も包括的な命を救うワクチンのパッケージを提供します。現在支援を受けられていないコミュニティを最優先とし、サービスを確実に拡大するに当たって公平性を重視します。Gaviは、5種混合、肺炎球菌およびロタウイルスのワクチンの提供を引き続き増やし、最も一般的な子どもの死因による何百万人もの子どもの死を防ぎます。

HPVはGaviの最も強力なワクチンであり、2011年の導入開始以来今では国の需要は供給をはるかに超えています。ワクチン製造業者が生産量を増やすことができれば、この需要により、8,400万人の女兒に接種を行うことができ、140万人の死亡を将来的に回避できる可能性があります。残念ながら、Gaviは、供給上の制約により、次の期間に5,000万人の女兒にしかHPVワクチンを予防接種できません。この数は供給上の制約がない場合に予防接種できる女兒の数よりもはるかに少ないと考えられています。Gaviは、ワクチン供給業者と積極的に連携を図り、**女兒と青年期女子へのHPVワクチンの展開を加速**し、現在、アフリカの女性に最も多いがん関連の死因である子宮頸がんの70%から90%を予防します。これにより、パートナーと連携して、重要な年齢層に関与する機会も得られ、HPVワクチンを超えた情報とサービスの統合パッケージを提供できます。 xxi

Gaviは、ワクチンのポートフォリオの拡大による予防対象も引き続き拡大します。2000年には6つの疾患であったのに対し、次の期間には18の疾患を予防します（図3と4参照）⁴。ジフテリア・破傷風・百日咳（DTP）追加接種、出生時のB型肝炎ワクチン接種、多価髄膜炎菌ワクチン⁵、定期的な経口コレラワクチン、RSVおよび狂犬病などのGaviの新しい**ワクチンの導入**により、生涯にわたって人々を守ることができます。ワクチンの包括的なパッケージに対するGaviの支援は、たとえば、学齢期の子どもに接種を行うなど、接種システムが人生のさまざまな時点で設けられることを意味し、HIVワクチンなどの有望な新しい画期的ワクチンの展開を支援できる可能性があります。

アライアンスは、不平等に対処し、命を救うワクチンの最も包括的なパッケージを提供します。

> 図3: ワクチンによる疾患予防の増加



ワクチン、特に肺炎球菌、ロタウイルス、腸チフス、および髄膜炎菌のワクチンの継続的な接種規模拡大と導入を行うことで、疾患や抗生物質の使用を回避して薬剤耐性 (AMR) の根絶に貢献できます。

Gaviアライアンスは、各国と連携して支援に優先順位をつけ、各国がそれぞれの状況に最も適したワクチンを特定できるよう支援しながら、ワクチン導入にあたっての課題に引き続き取り組みます。

健康を損ない、生命を脅かす疾患を防ぐための広範なワクチンのポートフォリオは、手頃な価格でワクチンを提供する持続可能なサプライヤー基盤、アライアンスパートナーによる支援体制の有効化、およびGaviが監督する世界中の官民関係者によ

って提供される一連の変革的なイノベーションを通じてもたらされます。

皆様のご支援により、我々は

- さらに3億人を超える子どもにワクチンを接種でき、接種しなければ失われる**700万人から800万人の命**を救うことができます。
- **子宮頸がんを最大70~90%を予防するHPVワクチンの** 女児への接種の展開を加速します。
- **18の疾患**を予防するため、Gaviの支援国に最も包括的な予防接種パッケージを提供できます。

> 図4: ワクチンによって予測される費用と将来的に回避できる死亡数の推定

ワクチン	2016-2020			2021-2025		
	支出 (百万米ドル)	予防接種を受ける人数	回避できる死亡数	支出 (百万米ドル)	予防接種を受ける人数	回避できる死亡数
肺炎球菌	2,402	1億9,000万人	50万人	1,304	2億8,000万人	約70万人
ロタウイルス	668	1億4,000万人	9万人	558	2億2,000万人	約15万人
5種混合 ^a	544	3億1,000万人	350万人	348	2億1,000万人	約280万人
IPV ^b	495	2億1,000万人	-	800	1億9,000万人	-
麻疹および風疹 ^b	376	6億9,000万人	170万人	294	4億9,000万人	約140万人
HPV ^{b,c}	206	1,400万人	30万人	516	5,000万人	約95万人
腸チフス ^d	41	4,000万人	2万人	302	2億5,000万人	約15万人
黄熱病 ^{b,e}	263	1億5,000万人	65万人	424	2億4,000万人	約70万人
髄膜炎A ^b	169	1億4,000万人	15万人	115	8,000万人	約10万人
日本脳炎 ^b	9	1,900万人	8,000人	9	1,300万人	約5,000人
エボラ	20	1億4,000万人	-	150	-	-
コレラ ^e	133	1,900万人	-	32	-	-
VISのワクチン ^f	46	-	-	360	1億8,000万人	約4万~9万人
その他 ^g	39	-	-	55	-	-
CEPIの疾患大流行用ワクチン ^h	77	-	-	0	-	-
合計	55億		約700万人	53億		700万~800万人
			当初の予測: 500万~600万人			

a B型肝炎およびHibを含有するすべてのワクチンが含まれる。

b キャンペーンと定期予防接種の両方の戦略の推定値が含まれる。

c HPVワクチンの将来的な供給が確実でないため、基本ケースに加えて、さまざまな供給シナリオを反映して範囲を算出した。予防接種を受ける人数の範囲は2021年~2025年の期間で2,600万~7,100万人であり、回避可能な関連死は58万2,000~110万人である。

d 国の将来的な展開が確実でないため、基本ケースに加えて、さまざまな採用シナリオを反映して範囲を算出した。予防接種を受ける人数の範囲は、2021年~2025年の期間で1億4,500万~3億2,000万人であり、回避可能な関連死は10万~22万人である。

e コレラワクチンは2021年~2025年の期間備蓄のみ。2019年の予防的使用ブリッジの資金調達を行う。VISワクチンにはコレラ予防が必要な国に対する推定支出が含まれる。

f VISのワクチンには、ジフテリア・破傷風・百日咳 (DTP) 追加接種、出生時のB型肝炎ワクチン接種、コレラ予防、狂犬病曝露後予防、髄膜炎多価コンジュゲート、およびRSウイルスワクチン (RSV) などがある。モデルの不確実性と摂取に関する不確実性を考慮するため、回避可能な死亡数の推定値に幅をもたせた。範囲は各疾患の2つの異なるモデルによるモデル推定値を表す。これらの数値は、2018年11月にGavi理事会に提出されたものと一致する。

g 注射安全支援 (INS) など他のワクチン関連の支出。

h 疫病対策イノベーション連合 (CEPI) へのGaviのサポートは、ノルウェーのIFFImへの誓約に支えられており、これまではGaviにとってコストニュートラルである。CEPIは、ワクチンが現在利用できない流行規模のワクチン予防可能疾患のための新しいワクチンの開発と開発の後期段階の資金調達を許可する。

備考:

予測される影響数は、人口規模、病気の負担、予測される導入、スケールアップ、予防接種の範囲の現在の推定値の関数であるため、変更される可能性がある。上記の推定値には、以前にGaviを使用したことのある国とGaviを使用したことがない国でのGaviの関与の影響は含まれていない。予備分析では、Gaviの最大の影響は最大10万人の死亡を回避できることが示唆されている。アウトブレイクの発生は非常に予測不可能であるため、備蓄ワクチンの予防接種数または回避数の予測値はない。

2019年6月現在の財務予測に基づく支出。

プライマリ・ヘルスケアシステムの強化および拡張

Gaviアライアンスは、各国のワクチン調達及び配送を支えるシステム構築を支援しています。

定期予防接種は、Gaviの支援国で5人に4人以上の子どもにすでに行われており、これは他のどの定期保健サービスよりも多いと言えます。^{xxii}

毎年、これらの国における定期予防接種プログラムにより6,500万人以上の子どもに7億5,000万回以上のワクチン接種⁶が行われています^{xxiii}。これには、すべてのコミュニティで定期的かつ安全にワクチンを投与する医療従事者、高温や凍結にさらされることによる損害からワクチンを守るための適切なコールドチェーンなど、ワクチンが必要な場所で確実に入手できるようにするための堅固なサプライチェーン、および予防接種の必要性を理解し、積極的に子どもたちに予防接種を受けさせるように両親を関与させる能力を含む、信頼できる強力なプライマリ・ヘルスケアシステムが必要です。毎年、**Gaviの支援国では出生数が増加している**ため、予防接種プログラムは、現在の接種率を維持するためだけでも、より多くの子どもに予防接種する必要があります。

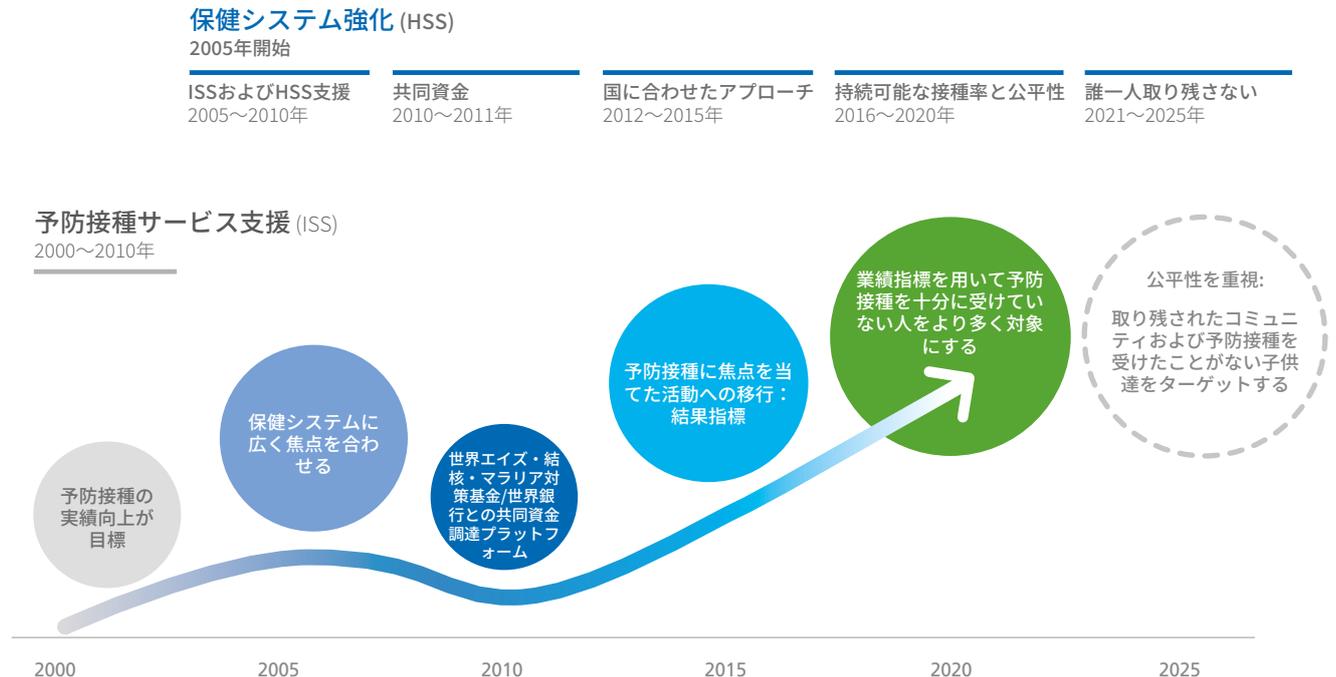
Gaviアライアンスは、現在の予防接種率を維持することではなく、それを上昇させて、すべての子どもに予防接種を行うことを強く希望しています。人口が増加しているにもかかわらず、**Gaviの支援により、各国では毎年予防接種を受ける子どもの数が増えた結果、過去18年間で50%の増加となり、接種を受けられない子どもの数はほぼ半減しました^{xxiv}**。また、それにより、各国は400を超えるワクチンの導入とキャンペーンを実施す

るために必要な能力を構築し、多数の疾患の大流行を食い止めることが可能となりました。

しかし、**低所得国では年間1,500万人を超える子どもが依然として最も基本的なワクチンの完全な接種を受けられず**におり、初回接種さえ受けられない子どもは1,000万人を超えています^{xxv}。そのため、Gaviは公平性を2021年から2025年の戦略の原則としました。Gaviアライアンスは、現在必要なサービスを一貫して受け取っていないコミュニティに予防接種サービスを拡大するために一層の努力します。焦点を絞った新たな投資やイノベーション活用して、2030年までにすべてのコミュニティが予防接種を受けられるようにし、真の普遍性というSDGsのビジョンを実現します。

このビジョンの実現は容易ではないでしょう。国やコミュニティの不安定性、人口増加、強制退去、移住、および気候変動の課題はいずれも増大しています。また、各国がGaviの支援から移行する一方、依然としてGaviの支援の対象となる国は、これらの課題にさらされやすくなり、それに対応するためのシステムが弱くなる傾向があります。したがって、そうした国でひとり残らず子どもに予防接種を行うには、より多くの費用がかかり、より多くの投資と新たな取り組みが必要となるのです。Gaviは焦点を絞った財政支援を行い、国だけでなくその下の地域に適したアプローチをとることで、不安定な、或いは緊急事態にあり、かつ必要な予防接種が実施されていないコミュニティの緊急のニーズに対応します。

> 図5: GaviによるHSS支援の進化



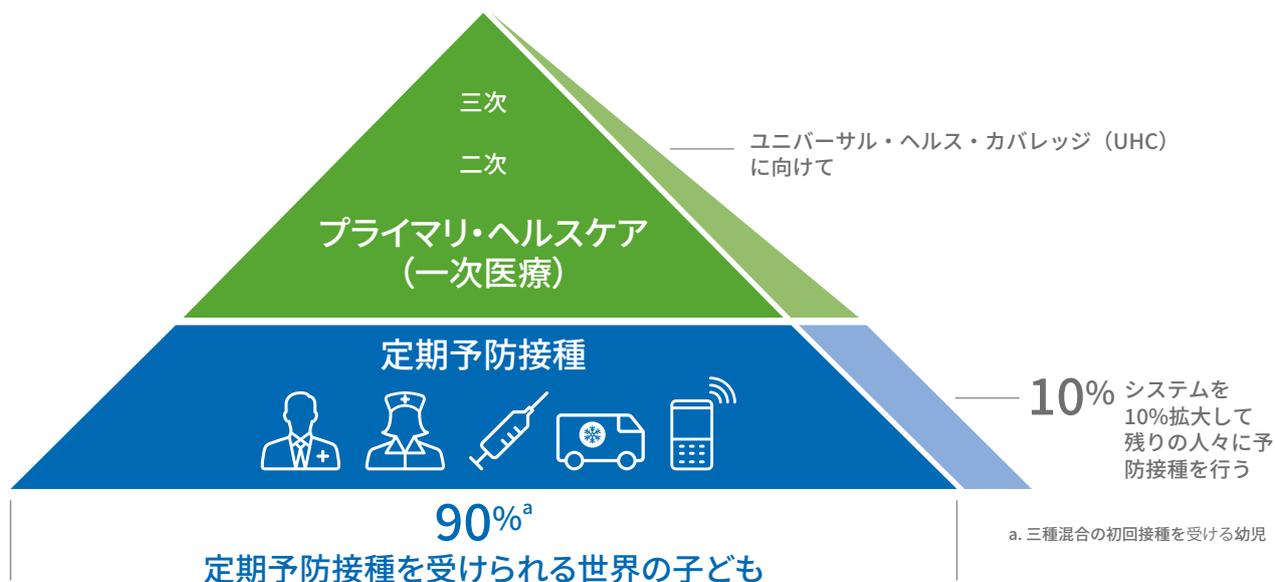
Gaviアライアンスは、各国にとって最適な支援方法を取っています。保健システム強化のための助成金は、ほとんどが予防接種を十分に受けていない地域を多く対象としています。Gaviは、国の主導により、透明性のあるパフォーマンスベースの技術支援を拡大してきました。また、革新的で環境に優しいコールドチェーン機器を迅速に各国に増やす新たなプラットフォームを立ち上げました。2020年までに6万5,000台の冷蔵庫が届くと予想されています。

現行の戦略期間に採用されたアプローチのおかげで、Gaviは迅速に活動し重要な教訓を得ることができました。次の期間に、Gaviはネットワーク、柔軟な資金調達メカニズム、および多様なパートナーシップを促進し、各国がプライマリ・ヘルスケアシステムを構築および強化する支援を継続します。

ジェンダーによる障壁と予防接種の不平等性との強い関連性に対処するため、次の期間ではジェンダーに焦点を合わせます。サービスの質や予防接種の需要の明確化など、公平性に対する他の重要な障壁を新たに重要視することで、予防接種を行っていないコミュニティを最優先し、誰もが予防接種を受けられるようにします。

現在予防接種を受けていない子どものほとんどは、他の保健サービスも利用できない地域に住んでいる可能性が高くなります。Gaviは、各国がそうしたコミュニティに予防接種サービスを提供する能力を拡大できるようにするため、基本的なプライマリ・ヘルスケア (PHC) サービスを提供できるプラットフォーム、すなわち普遍的なプライマリ・ヘルスケアのプラットフォームも構築しつつあります。

> 図6 予防接種はプライマリ・ヘルスケアのプラットフォーム



アライアンスは、他の基本的なプライマリ・ヘルスケアサービスを提供できるプラットフォーム、つまりユニバーサルプライマリ・ヘルスケアのためのプラットフォームも構築しています。

都市化

都市人口は急速に増加している。現在、世界の人口の55%が都市部に住んでおり、2050年までに68%に増加すると予想されている。世界的な都市化の進行の90%はアジアとアフリカで発生している^{xxvi}。都会のスラム街で増え続ける1回も予防接種を受けていない子どもや予防接種を十分に受けていない子どもに手を差し伸べるには、新しいアプローチが必要となる。居住者は最近移住してきたばかりであったり、法的ステータスや住居状態が不安定であったりするため、基本的な保健サービスへのアクセスが制限され、疾患のリスクがさらに高まる^{xxvii}。公的な医療記録がなく、予防接種プログラムの対象であると気づかれないことから、予防接種サービスの提供計画に含まれる可能性が低くなる。たとえば、エチオピアの都市部では、12ヵ月から23ヵ月の子どもの約3分の1が基本的な予防接種を受けているが、農村部ではおよそ3分の2である^{xxviii}。こ

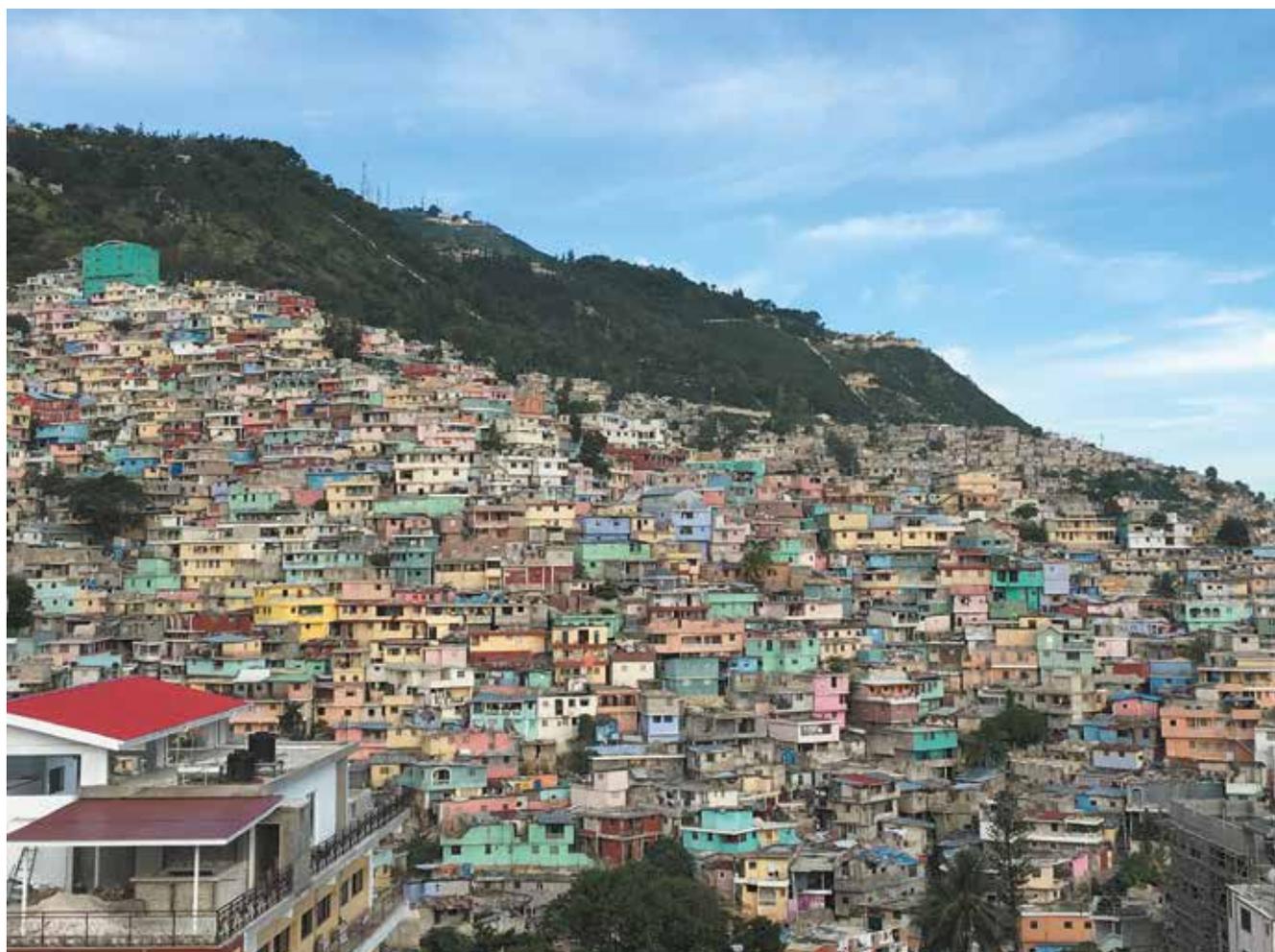
の傾向は、移住者の流入によって新たな感染体をもたらされる都会のスラム街ではさらに顕著である。都会のスラム街の特徴である過密状態により、人口密度の高い地域で広がりやすい疾患に起因する小児死亡率が上昇する。インド、バングラデシュ、ケニアのスラム街では、麻疹、おたふく風邪、ジフテリア、インフルエンザ、腸チフスなどの感染症の罹患率および死亡率が上昇している^{xxix}。

状況の厳しい都市環境における公平性と持続可能性を実現するため、Gaviはアライアンス全体で実証された新たなツールとアプローチをもたらす。Gaviは国主導のアプローチを維持しながら、急速な都市化や、気候変動と世界の健康の安全性との結びつきという課題を克服するために国とコミュニティを支援する。

「予防接種は未来への道です。それはすべての子どもの権利であり、あらゆるコミュニティの発展と繁栄に不可欠です。」

Reem Al Hashimy

アラブ首長国連邦国際協力大臣



Jalousie, Port-au-Prince, Haiti – Gavi/2016/Rachel Belt



イノベーションの拡大

変革的イノベーションはGaviのDNAに組み込まれています。Gaviアライアンスは、市場の創設や世界の国々を支援から卒業させるための協調融資に至るまで、世界で最も弱い立場にいる子どもたちにワクチンを接種するため多くの新しいアプローチを開拓してきました。それでもまだやるべき課題が残っています。ワクチン接種を受けていない子どもの集団が存在し、成功を阻む障壁はより複雑化し、分散しています。Gaviのイノベーションに改良を加え、加速、拡大する努力を合理化し、Gaviアライアンスが公平性を高め、前進を阻む要素を取り除くうえで最も重要な課題に重点的に取り組むことができるかつてない好機が到来しています。

21世紀の開発モデルであるGaviは、それぞれの国が抱えるニーズと、そのニーズを満たすのに役立つ革新的な解決策やパートナーをつなぐ多くの結びつきを仲介してきました。その活動は、公的部門と民間部門それぞれの持ち味を活用することから、国の投資を加速する触媒役を務め持続可能性を中心に据えるといったことにまで及んでいます。

これまで開拓してきたすべてのアプローチで、Gaviアライアンスは予防接種における重要な成果を達成し、独自の発展を遂げてきました。Gaviはその進化の過程で、さまざまなチーム構成、資源調達的手法を実験し、多様なアクター間のつながりを仲介し、各国が財政的に独立するのを支援しました。そして目標が達成可能だと認識できるレベルに到達したことをアライアンスが確認できるまで、繰り返し独自のノウハウを構築してきました。

その間、ワクチン事前買取制度 (AMC) や予防接種のための国際金融ファシリティ (IFFIm) などの革新的な金融メカニズムが、Gaviアライアンスの活動の多くを支えてきました。

2016年から2020年にかけて、ワクチンを配送する有望なイノベーションをGaviアライアンスに導入する新しい方法がテストされています。これは特に、現在データ管理とロジスティクスを阻む主要なボトルネックへの取り組みを開始することを目的としています。

予防接種への投資のインセンティブを民間部門に与えるよう設計されたメカニズムであるGaviマッチングファンドと、ワクチン供給規模を拡大するためのイノベーションを育てるINFUSE (Innovation for Uptake, Scale and Equity in Immunisation) に見られるように、Gaviの民間部門との提携が世界各国に新しいソリューションをもたらす一翼を担ってきました。ガーナとルワンダでのドローンによるワクチン配送、インドやアフリカでの洗練された需要拡大プログラム、コートジボアールとモリタニアでのデータのデジタルソリューションと通信・金融サービス会社への登録、ウガンダとセネガルの物流サプライチェーンソリューションなどがその例です。

例えば、Gaviは、ケニア、モザンビーク、セネガル、タンザニア、インドのワクチンコールドチェーンをサポートするため、革新的

な温度検出技術を拡大すべく、INFUSEペースセッターであるNexleaf Analyticsと協力しています。このクラウドベース温度検出技術は、遠隔温度モニタリングによってワクチンの凍結を44%削減できるという研究成果に基づいており、各国がコールドチェーンの調達と保守に関して政策判断を下すための情報源となっています。GaviのUPS (United Parcel Service) とのパートナーシップは、アライアンスのサプライチェーン戦略に基づく支援を受けて成長し、つい最近ではウガンダでのワクチンの「ラストマイル」配送を最適化するなどの成果を上げています。医療施設でワクチンを確保できるようにするため、GaviはUPSの同種のサービスとしては最高のロジスティックサポートを活用し、効率のかつ安定して強力なワクチンの在庫を改善しています。最初の3つの地区では、在庫切れが79%から7%に減少するという有望な結果が得られました。UPSとのパートナーシップはさらに発展し、19カ国における250名の予防接種サプライチェーン・マネージャーを育成するためプログラムマネジメントとリーダーシップトレーニングが行われました。その結果、従来欠落していた部分をターゲットにした戦略的トレーニング・エグゼクティブ・プログラム (STEP) が、国際医薬品卸連盟 (IFPW) からの支援により誕生しました。

Gaviの革新的な活動は、予防接種関連の製品全体に及んでいます。Gaviアライアンスは、自動無効化シリンジの使用、ワクチンバイアルモニターによるワクチンの品質と安全性の確保、温度センサーの使用、熱安定性ワクチン製品などを通じて注射の安全性を向上させてきました。

Gaviの各種イノベーションは、より広範なワクチン配送のエコシステムの一環であり、いくつもの慈善団体、その他の機関・団体がイノベーションの発見、インキュベーション、検証の取り組みを支援しています。2021年から2025年にかけてGaviは、このエコシステムにおいて2つの役割を果たす予定です。1つ目の役割は、すでにインキュベーションプロセスを経たイノベーションを検証し、普及を加速し、拡大することです。もう1つの役割は、こうした取り組みを各国、パートナー、イノベーター間でコーディネートすることによって、イノベーションを拡大することです。

> 図7 イノベーション・バリューチェーンにおけるGaviの位置づけ



アライアンスは、モデルの核となるイノベーションに取り組み続けます。

他のパートナーがイノベーションの発掘とインキュベーションに焦点を当てる一方で、Gaviはイノベーションを加速化しスケールアップします。それにより特定の分野の劇的な進化を支援することができるのです。

次の期間、Gaviは、ワクチン配送のイノベーションを加速、拡大するために、既存のネットワーク、柔軟性に富んだ資金調達メカニズム、多様なパートナーシップを活用できる格好の位置に立ちます。それによって以下が達成されます。

- 1) 結びつきの仲介:** Gaviは、アライアンスパートナー、政府、資金提供者が交差する位置にあります。また、Gaviの市場に製品、サービス、プロセスを導入し拡大するのを支援するために必要な、イノベーターと支持者の間のつながりを仲介できる格好の立場にあります。
- 2) 適応性、柔軟性に優れた資金の特定:** Gaviは、各国がイノベーションを拡大するのを支援できる類を見ない立場にあります。資金調達にイノベーションを起こしてきた長い歴史に立脚し、Gaviは資金調達イノベーションを加速するため、新しい財政援助手法を今後設計していきます。
- 3) ファストトラック適応支援:** Gaviは、国によって置かれている状況は異なり、したがってニーズも異なることを理解しており、それらを満たすためのソリューションを仲介できる好位置にあります。Gaviは、これを迅速かつ機敏に行い、情報化時代におけるイノベーションと変化のスピードに歩調を合わせていく必要があります。
- 4) 拡大可能なイノベーションへの支援:** Gaviアライアンスの広範なネットワークを活用して、Gaviは拡大可能なイノベーションを支援し、新しいパートナーシップ、資金調達、ワクチン導入の機会を広げる絶好の立場にあります。

- 5) ワクチン関連技術のイノベーションのけん引:** Gaviアライアンスは市場形成能力を活用して、Gaviが資金を投じてきたワクチン関連製品のイノベーション、さらに一次容器、配送経路、パッケージング、安全性、ラベリング、製剤などの面で付加価値を与えたワクチン技術のイノベーションをけん引します。

2021年から2025年にかけて、Gaviアライアンスは引き続きモデルの中核をなすイノベーションに取り組み、予防接種の製品、実務、サービス全体にわたってイノベーションを加速していく予定です。ワクチン関連製品の戦略を拡大し、革新的な実践とサービスへの道筋を拡大していくことは、コミュニティ支援の妨げとなっているボトルネック要因を取り除くのに役立ちます。

「Gaviは何百万人もの子どもの健康を守っているだけでなく、その官民パートナーシップモデルがイノベーションとスキルを共有していく触媒となっています。」

Eduardo Martinez
UPS基金理事長

「ワクチンは子どもの命を守るために不可欠であり、すべての子どもに手を差し伸べるにはイノベーションが必要です。」

Ariadna Bardolet
「ラカイシャ」財団国際プログラムディレクター

Gaviは、ワクチン配送におけるイノベーションを加速し拡大するため、独自のネットワーク、柔軟な資金調達メカニズム、および多様なパートナーシップを活用できる格好の立場にあります。

>図8 2000～2019年：Gaviがスケールアップしたおもなイノベーション

2000年

Gaviが、公的部門と民間部門を糾合した**グローバル・ワクチン・アライアンス**として創設される。

Gaviは、すべての新しいワクチンに**ワクチン・バイアルモニター (VVM)** を取り付けることを義務づけている。VVMとも呼ばれるこれらのラベルには熱感知材料が含まれており、熱ばく露を記録するためにワクチン・バイアルに貼付される。ワクチンが、時間の経過につれて過度の熱にばく露したかどうかを簡単に読み取ることができるようにすることで、ワクチンを使用できるかどうかを医療従事者に明確に伝える。

2006年

IFFIm（予防接種のための国際金融ファシリティ）が、真に社会的に責任ある投資のユニークな形態であるワクチン債を他に先駆けて開発。

2002年

Gaviは、注射の安全性を高めるため**自動無効化シリンジ**の導入をサポートし、安全な注射を推進するための各種政策と注射方法の導入、より広範な医療部門への展開を促進。

2007
～2009年

Gaviは、Gaviの役割が一時的な、きっかけを与える役割であり、それぞれの国がGaviの支援から段階的に脱する準備をする必要があることを踏まえ、**協調融資、適格性**、国を財政的持続可能性に向けた軌道にしっかりと乗せていく**卒業**政策を導入。

2009年

肺炎ワクチンの開発と開発途上国での利用を促進するために**ワクチン事前買取制度 (AMC)** が開始され、新しいワクチンが先進国で利用できるようになってからわずか1年後にGavi支援国でも利用開始。

2012年

A型髄膜炎菌混合ワクチンMenAfriVacに、最大40°Cの温度で最大4日間**管理された温度チェーン (CTC)** で使用することを認めるラベル変更が許可される。

2011年

Gavi マッチングファンドが、企業による予防接種への投資を促す官民資金調達メカニズムとして発足。民間部門の現金または現物での貢献をマッチングさせるこのメカニズムを通じてGaviは、ワクチン配送システムを近代化するために必要な資源と専門知識を確保することが可能となった。

2015年

Gaviの**コールドチェーン機器最適化プラットフォーム (CCEOP)** は、イノベーションを促進することによってコールドチェーン機器市場の形成に貢献するとともに、時間の経過とともに価格を下げやすくし、より環境に優しく、信頼性が高く、費用効果が高く、持続可能なコールドチェーン機器への移行へのインセンティブを各国に与えている。

西アフリカを襲ったエボラ危機のさなか、Gaviは、第1相+のワクチン候補に取り組んでいるすべての製造業者に新しい**事前買取制度**を提案。Merck社はこの殺人病から人々を守るために300,000用量の治験ワクチンを提供することを約束する合意をGaviと締結。

支援組織の参加の枠組み (PEF) は、パートナーへの資金配分における国単位の発想、差別化、アカウントビリティ、透明性を中核の原則として各開発組織と協力してパートナーを成功に導く新しい方法を開拓している。

2016年

2016年にダボスで開始された**INFUSE (Innovation for Uptake, Scale and Equity in Immunisation)**：予防接種への理解と接種規模の拡大、そして予防接種への平等なアクセスのためのイノベーション) は、ワクチンの配送を改善する可能性のあることが実証されたイノベーションの育成を目指している。そのうえでこのイニシアチブは、資本と専門知識を「infuse」、すなわち注入して、規模の拡大を後押ししている。

2017年

スタートアップであるNexleaf Analyticsと提携して、Gaviは農村の診療所と医療施設で革新的な**ワクチン・ワイヤレス温度モニタリング・システム**の構築とスケールアップに着手。

2018年

プラスチックチューブ容器に入った世界初の経口コレラワクチンが開発され、Gaviが採用した。この新しい、費用対効果を改善した剤形の開発により、Gaviは高まる需要を満たし、このワクチンを渴望する僻地に輸送し、投与することが容易になる。

ドローン会社Zipline社は、ルワンダでこの技術を開拓した後、Gavi、UPS Foundation、その他のパートナーの支援を得て、ガーナで**世界最大のワクチンドローン配送ネットワーク**を立ち上げた。これによって、最大2,000の医療施設と1,200万人にワクチンが届けられることになる。

2019年

ルワンダ、エチオピアに次いで、マラウイでも、Gaviは、創造的な非営利団体、Girl Effectと協力し、若者ブランドの力を活用して**女兒に対して子宮頸がんワクチンを提供する必要性を理解させ**、将来を左右する重要な時期にある少女たちが医療サービスを利用できるようにするパートナーシップを拡大した。

Gavi、NEC社、Simprints社は、発展途上国の予防接種を強化するため、**世界初の実用可能な子どもの指紋認証システム**を展開している。この新しいプロジェクトは、Gaviの予防接種の経験と専門知識に基づいて、Simprints社の生体認証指紋技術とNEC社の強化認証エンジンを組み合わせて、1～5歳の子どものデジタルIDの付与を支援するプロジェクトである。



健康不安から世界を守る

エボラ出血熱と麻疹のグローバルな大流行は、病気にとって国境が意味をなさないことを改めて思い出させました。感染症は飛行機と同じ速さで移動することができます。最近の流行事例により、グローバル化した世界では感染症に直面するリスクが増大していることを世界の人々が意識しました。

病気はわずかな時間で世界中を駆け巡り、発症してから初めて保健当局は危機が起きていることを認識します。同時に、世界中で進行している都市化の流れは、人々が感染症にかかりやすい状況と隣り合わせて生活していることを意味しています。世界中を人々が行き交う状況と急速な都市化の組み合わせにより、爆発的な流行のリスクが高まっており、いつでも対応できる態勢を整備する必要性が浮き彫りになっています。

仮に黄熱病のような致命的な病気が人口密集地域で広がり始めた場合、急速に感染が拡大し、多くの人々が苦しみ、絶命するだけでなく、貿易、旅行、経済活動も中断してしまいます。これらのリスクは、プライマリ・ヘルスケア・システムが脆弱で、感染症を発見したり対応したりする能力が低い国では特に増大します。紛争や戦争などと同様に、疾患の大流行は、予防接種の普及を遅らせ、後退させる可能性もあります。

感染性疾患は、当該国に対し人命と病苦の両方の点で重い犠牲を強いるだけでなく、重い経済的負担も強めています。世界銀行によると、2014年から2016年に西アフリカに壊滅的被害をもたらしたエボラ出血熱の大流行は、保健システムを破壊し、1万1,000人以上の人々が亡くなり、家族が親族を失いました。また、2015年の累積GDP損失額は総額で28億米ドルに達しました。この大流行により、民間部門の成長、農業生産、越境交易が被害を受け、エボラ出血熱の大流行に見舞われたギニア、リベリアとシエラレオネ3カ国の一人当たりのGDPが平均125米ドル減少しました^{xxx}。

エボラ出血熱の流行時に確認されたように、病原体にとっては、国境線は意味がありません。また、流行に見舞われた国との接触を断絶すると拡散する病気と戦うために必要な物資と人員を足止めするため、問題を悪化させることにしかありません。

**Gaviは緊急事態に備え
流行のさらなる拡大を避けるために、
必要なワクチンを確保します。**

グローバルな健康安全保障上の脅威に対処するGaviの役割は、発足当時から大幅に拡大しました。定期予防接種の規模の拡大とともに、史上最大のワクチン備蓄も行っています。

2021年から25年にかけてGaviはグローバルな健康安全保障への投資を強化していく予定です。黄熱病、髄膜炎菌感染症、多価髄膜炎菌感染症、日本脳炎、コレラ、腸チフス、麻疹などの流行しやすい疾患に対する定期予防接種は、こうした疾患が発生する前に壊滅的な大流行を予防する最良の方法です。予防接種率が低い、または予防接種を受けていない集団が散在している場合、特に状況が不安定な国々での質の高いキャンペーンは、免疫ギャップを埋めるのに役立つと期待されています。

Gaviは、コレラ、黄熱病、髄膜炎などの主要な疾患に対する世界的な緊急ワクチン備蓄の構築と管理に積極的に関与することにより、世界規模での疾患大流行の予防にも貢献します。2006年から2019年にかけて、9,000万人超が、Gaviが支援する備蓄によって予防接種を受けました^{xxxi}。2021年から2025年にかけて、Gaviは、流行に対応し、その流行の拡大を避けるために、緊急事態が発生した場合ワクチンを必ず届けられよう努力し、麻疹の流行に対する緊急対応措置を支援しています。

さらに、エボラ出血熱にかかった人の死亡率が高いことを踏まえ、Gavi理事会は、規制当局によって認可され、世界保健機関によって事前に認定された新しいエボラ出血熱ワクチンの備蓄を重要な投資と位置づけています。これが実現すれば、コンゴ民主共和国の北キブで現在進行中のエボラ出血熱の大流行、先行して起こった2018年にムバンダカでの大流行、2014年から2016年の西アフリカでの大流行など、大規模なエボラ出血熱の流行に世界が対処できる態勢が整うことを意味します。

「ワクチンは、流行を防止し、薬剤耐性菌感染が広がるのを抑えるのに役立ちます。これらは、グローバルな健康安全保障の未来を切り開くための重要なツールの1つです。」

Jeremy Farrar
ウェルカム・トラスト、ディレクター

ポリオ根絶に向けた協力

この数年間で、ポリオの根絶に向けて大きな進歩が見られました。現在このウイルスは世界で最もアクセスしにくい一部のコミュニティで最後の命脈を保っているに過ぎません。最後の野生のポリオウイルス宿主を根絶する努力が続けられており、政府、GPEI、Gavi、パートナーは、ポリオのない世界を維持するための次のステップを準備しています。

Gaviは2019年に、GPEIのポリオ監視委員会に参加しました。2019年は根絶イニシアチブの重要な段階にあり、GaviとGPEIのパートナーシップは、戦略面、プログラム面で1つに集約されつつあります。定期予防接種の改善は根絶にとって決定的に重要です。これは、ワクチン由来のポリオウイルス（VDPV）の大流行リスクの緩和にもつながります。Gaviは、ポリオ根絶のために築かれてきた資産とGaviの資源を最適な形で使用して定期予防接種体制を強化すべくGPEIと密接に連携しています。

ポリオ根絶・最終段階戦略計画2013-2018は定期予防接種プログラムへの不活化ポリオワクチン（IPV）の導入を世界規模で要求しました。IPVの導入は、残存するポリオウイルスに対する防護に役立ち、根絶が達成されて経口ポリオワクチンが中止された後のポリオのない世界を維持するための保険として機能することになります。

Gaviはこの取り組みを強力に支援し、GPEIと協力して歴史上まれに見る速度で、新しいワクチンを推進しました。GaviはGPEIに代わって、GPEIドナーの資金でIPVプログラムを実施しました。さらに、ポリオ監視委員会の要請により、2019年と2020年のワクチン接種用に例外的に資金提供を行いました。

Gaviは次期戦略期間中さらに8億米ドルを投資して、IPVワクチンの展開を加速し、短期的のうちにIPVの市場を形成し、手頃な価格の6種混合ワクチン（1つの製品にジフテリア、破傷風、百日咳、ヘモフィルス・インフルエンザ菌B型、B型肝炎、IPVの6種類のワクチンが混合されている）が最終的に5種混合ワクチン（IPVなし）に取って代わる日の実現に向けて努力する予定です。Gaviはすでに、支援しているすべての国で5種混合ワクチンを成功裏に導入しています。

IPVはポリオの根絶にとって重要であり、これが成功すれば、ポリオは、人類史上で天然痘に次いで2番目に根絶される病気となるでしょう。ポリオ根絶の取り組みのおかげで、推定1,800万人を超える人々が麻痺を免れ、歩いているのです^{xxiii}。Gaviにとって、この努力の一端を担っていることは誇りです。

皆様のご支援により、Gaviは

- Gaviがサポートするワクチン備蓄により緊急事態に対応します（**髄膜炎、黄熱病、コレラ**）。
- 世界保健機関からの事前認定を前提として、**新しいエボラワクチン備蓄**に最大**1億5,000万米ドル**を投資する準備があります。
- 世界規模のポリオ根絶に向けて、**8億米ドル**を投資し**IPVの展開をさらに加速**します。
- **黄熱病、A型髄膜炎、コレラ**の定期予防接種を強化し大流行リスクを減らすことで、長期にわたる備蓄へのニーズを軽減します。
- はしかの発生に対する緊急時対応キャンペーンを支援
- データと疾病報告体制を強化し、**流行の早期警告**を行えるようにします。

紛争、安全保障、不安定性、健康

世界で最も貧しい国の予防接種率を改善するため世界規模で取り組みが行われていますが、不安定な環境にある子どもたちはそこから取り残されています。Gavi支援対象国のうち、不安定な国の割合は年々増加しています。2009年には15%であった比率が2018年には27%となりました。これらの国の60%はアフリカに集中しています。不安定な国々でのワクチン接種率はそうでない国よりもほぼ10%低く、かつ国全体の接種率しか見ないことにより、州レベルで接種率にバラつきがある点が見えなくなっています。これらの国々は切迫した問題を抱え、急速な人口増加に直面しています。そうした現状を踏まえると、接種率を維持するだけでも大きな課題なのです。

2017年7月、Gaviは不安定な状況あるいは緊急事態にある国々や難民に対する政策を新たに打ち出し、不安定な状況下、特に脆弱な集団に属している子どもたちへのワクチン接種を拡大しました。

バングラデシュは2017年、Gaviの資金によりコックスバザールにおいてロヒンギャ難民向けの予防接種キャンペーンを実施し、この政策を利用した最初の国となりました。Gaviは、ミャンマーから国境を越えて避難した65万人以上のロヒンギャ難民と受け入れコミュニティでの疾患の蔓延を防ぐため、緊急コレラ予防接種キャンペーンを支援しました。予防接種キャンペーンは大規模なコレラの流行を防ぐことに成功しましたが、ロヒンギャの人々の予防接種率が低いいため、ジフテリアが一斉に広がり、数千人が感染しました。免疫力を高め、これ以上の大流行を防ぐため、Gaviは15万人以上の難民の子どもたちを対象とした麻疹・風疹、肺炎球菌、IPV、5種混合ワクチン接種を支援しました。

シリア Gaviは、政府支配地域と非政府勢力支配地域の両方で活動し、シリアに5,000万米ドルを投じ、予防接種を受けていなかった何百万人もの避難民に予防接種の利益をもたらしました。定期予防接種とコールドチェーンへ投資することで、小児疾患や流行の可能性のある疾患に集団がさらされる機会が少なくなります。

次の緊急事態 次にどんな保健上の緊急事態が起こるのか予測するのは困難ですが、緊急事態が発生することは確実です。戦略的な投資を通じて資源の柔軟性を確保することにより、Gavi理事会は随時、支援可能な態勢を整備していきます。

気候変動がもたらす新たな試練

毎年、170万人の5歳未満の子どもが、なんらかの環境の影響によって命を落としています^{xxxiii}。そのうち100万人以上は、肺炎を含めた呼吸器感染症、下痢性疾患、マラリアが原因で亡くなっていますが、その死の多くはワクチンで予防可能です。予防接種、その他の医療的介入により多くの子どもが保護されている一方で、地球規模の環境変化によりこれらの疾患のリスクが高まり、予防接種の利益と最も脆弱な人々の命が常に危険にさらされています。

気候変動は、ベクター媒介疾患、特にマラリアの有病率に直接影響を与えると予想されます。日本脳炎と黄熱病も有病率が高まり地理的範囲も拡大する可能性があります。水媒介性疾患と下痢性疾患による世界全体での負担は、気候変動や強制退去による移動によって変化する可能性があり、特に水質汚染と水道、衛生サービスの途絶の影響を被ることが懸念されます。現在の予測では、2080年までに黄熱病やジカ熱などの疾患を媒介する蚊がカナダや北ヨーロッパに移動し、新たに8億人が脅かされることになると推定されています^{xxxiv}。

自然災害は今以上に頻発するようになると予想されています。2019年3月、サイクロン「イダイ」がモザンビーク、マラウイ、ジンバブエに深刻な洪水と破壊を引き起こし何百万人もの人々が援助を必要とする状況に陥り、世界は、そのような悲劇の影響をあらためて思い知らされました。イダイは記録上3番目に多くの人命を奪った熱帯低気圧でした。その後、コレラの大流行により4,000人以上がコレラを発症し、Gaviが資金提供した備蓄から90万本の経口コレラワクチン(OCV)が迅速に放出され、感染拡大を抑えるためにコミュニティに接種されました。1か月以内に、症例はほぼゼロになりました。

気候の変化によって流行しやすくなる疾患に対するGaviの定期予防接種ワクチンと備蓄用ワクチンには、黄熱病、日本脳炎、A型髄膜炎、ロタウイルス、コレラ、腸チフスなどがあります。Gaviは世界初のマラリアワクチンパイロットに共同で資金提供する予定です。Gaviアライアンスは、急速に問題化してきた気候変動の影響に対処するため随時貢献したいと考えています。

公平な繁栄を築く

社会が健全であれば経済も健全になります。予防接種へ1ドル投資するごとに21ドルの利益が得られ、より広範な社会的利益を含めると54ドルに上昇します。

ワクチンは「開発協力のベストバイ(お買い得品)」の1つと言われています。集団免疫により、ワクチンは感染症の循環を防ぎ、大流行の可能性のある疾患から人々を守ります。しかしそれは、収入を得るよりも病気の子どもの世話を優先しなければならない、あるいは薬や治療が手に入る場合は限られた収入を薬や治療に費やさなければならないといったことから生じる経済的損失に対する強力な保険という側面も持っています。

病気による窮乏化は、経済発展にとって大きな桎梏であり、貧困から脱するために一生懸命働いてきた家族やコミュニティが病気によって貧困に逆戻りしてしまいます。Gaviが支援している国々での予防接種は、病気による窮乏化と壊滅的な医療費を回避でき、最も貧しい家族が最も恩恵を受けます^{xxxv}。

Gaviは、組織原則として国内における公平性を重視しており、そのため、貧困ライン以下のコミュニティに対して高い関心を寄せています。Gaviの投資は、保健サービスから取り残された人々(SDG3)だけでなく、**極度の貧困を終わらせる**ために政策対象とされている人々(SDG1)に恩恵を届けることにも貢献しています。

次の戦略期間全体を通じてGaviの支援を受ける国では、接種回数ゼロ、すなわちワクチン未接種の子どもの3人に2人が貧困ライン以下で生活しています。

ジェンダーの不平等、ジェンダーと貧困の因果関係への視点の欠落、ジェンダー間の関係の誤解はすべて、世代間の貧困の悪循環の基本的な要因です。Gaviは、ジェンダーが予防接種の障壁にならないように、公平性評価と男女別データの収集を通じて、これらの関係性の理解にさらに努力を傾注していきます。

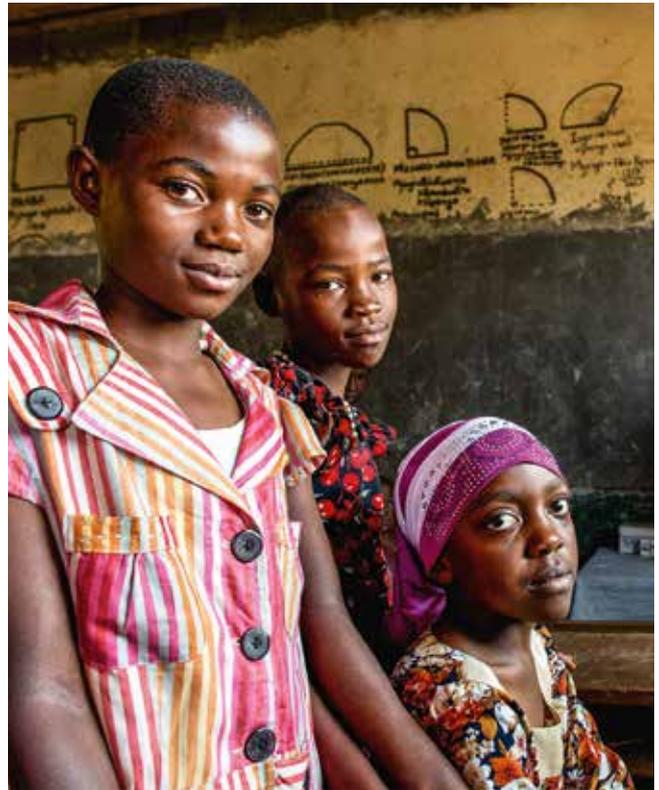
社会の隅に追いやられている人々に自分の懸念を表明する力を与え、意思決定に影響を及ぼすジェンダーの視点を通じた投資を関係国に行うことで、疾患の影響を最も受けやすい余裕のない人々に予防保健サービスが届くのを後押しします。そして、それによって、公平な繁栄を促進します。

さらに、子宮頸癌に対するHPVプログラムを通じて、Gaviは少女たちが青年期になった時点で保健システムと再び接点を持つようになります。これは、少女たちに他の健康情報や健康サービスを提供するうえで決定的に重要な機会となります。

Gaviの活動によって、**2021年から2025年にかけて800~1,000億米ドル台の経済効果が期待されます。これは後発開発途上国に対する年間ODA総額の少なくとも3年分に相当します。**それぞれの国は、こうして節約できた資金を将来の人材開発に振り向け、誰ひとり予防接種から漏れることがないようにすることにより、すべての人々の繁栄を生み出すことができます。^{xxxvi}

「ワクチンは病気だけでなく、貧困の予防にも役立ちます」

Joanne Carter
RESULTS事務局長



Gavi/2014/Karel Prinsloo

皆様のご支援により、わたしたちは

- ジェンダーに焦点を当てた予防接種計画を通じて、**女性と少女の自己決定権を高めます。**
- 経済的利益にさらに**800~1,000億米ドル**貢献します。
- **貧困ライン以下で生活している人々**に対する保健システムとプライマリ・ヘルスケアを充実させる各国の取り組みを支援します。

市場形成を推進する

Gaviの市場形成アプローチは時間とともに拡大し、ワクチンの供給体制と価格が大幅に改善しました。このことは、関係国とドナーの投資がさらに拡大することを意味しています。5種混合、肺炎球菌、ロタウイルスのワクチンをすべて一人の子どもに予防接種するには2010年には35ドルかかりましたが、2017年には17ドル未満にまで削減でき、52%を上回る削減となりました。^{xxxvii}

Gaviの市場形成モデルが達成した価格引き下げにより、2021年から2025年のあいだに9億米ドル以上の節約が可能になると予想されます。素晴らしい結果を得た前期間をさらに約2億米ドル上回る額です。交渉力、ワクチン製造業者数の増加、健全な競争、連携アプローチ、賢い投資により、関係国とドナーの資金はさらに大きな成果を達成すると予測されます。

Gaviは次期戦略期間、2000年から2019年にかけて順調に拡大した供給元を足場とし、ワクチン製造業者との協力を進めていきます。2000年から2019年にかけて、ワクチンを提供する会社は先進国の5社から現在では世界17社にまで増えました^{xxxviii}。

Gaviは、コミュニティの健康だけでなく、Gaviの活動の土台となる市場の健全性や、各国がアクセスしようとする市場の将来の持続可能性にも関心を寄せています。Gavi、UNICEFの調達部門、ビル&メリンダ・ゲイツ財団が開発した健全な市場枠組みは、進捗評価のために必要な重要な構成要素を定めています。

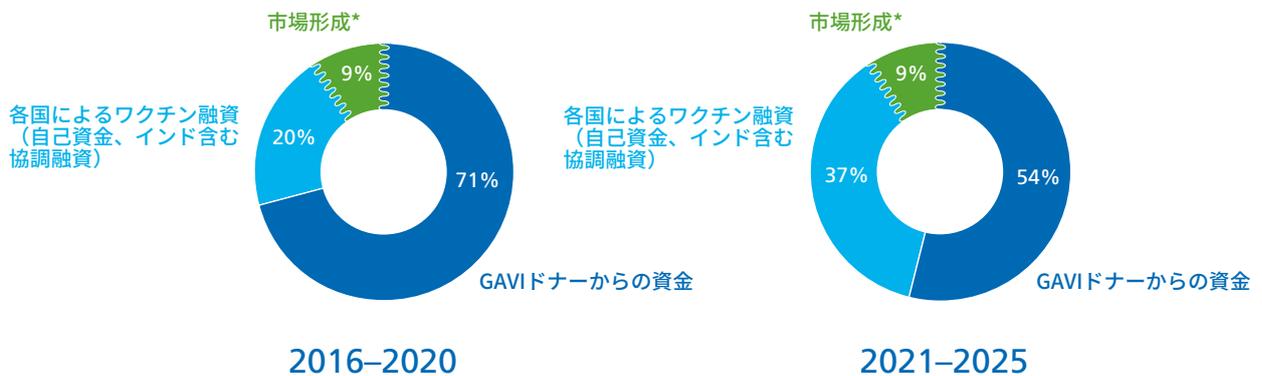
供給元が増えるほど、供給の安定性が向上します。製造上の問題があっても、他の製造会社が緩衝材というべき在庫を持って介入できます。Gaviは、供給が不十分な市場では、供給が需要を満たし、さらにはそれぞれの国の希望にも応えられるようにするために、業界と協力して2021年から2025年に新しい供給元を開拓する予定です。

健全性が高まった市場では、Gaviの重点は長期的な競争の維持と、ワクチンの剤形、配送、システム全体のコストを改善するイノベーションの奨励にシフトしていくこととなります。

皆様のご支援によりわたしたちは

- 「ベルリン投資機会」で発表された効果の大きいワクチンの価格を下げることで、2021年から2025年の間にドナーの費用負担を9億米ドル節約します⁷。
- ワクチンと予防接種関連製品を手頃な価格で入手できる**持続可能で健全な市場のダイナミズム**を実現します。
- 新しい製造業者からのワクチン追加の製品選択により、Gaviが支援する少なくとも5つの市場の**競争力と供給の安定性**を強化します。
- 適切なワクチンと革新的な予防接種関連製品の開発と**規模拡大のイノベーション**を奨励します。

>図9 ダイナミックな資源調達モデルが資金全体に占めるドナー負担分に及ぼす影響の予測



*2015年市場形成価格動向ベースライン

ドナーからの支援で可能に

3億人以上の子どもたちに予防接種を実施して700~800万人の命を救い、疾病の大流行に備えた備蓄用の資金を調達するとともに保健システムを強化し、800~1,000億米ドルに上る経済的利益を達成するために、Gaviは2021~2025年の間に少なくとも94億米ドルを支出する必要があります。

ワクチンプログラム

Gaviは2021~2025年のワクチンプログラムに53億米ドルの投資を行う予定です。支援対象は、5種混合、ロタウイルス、肺炎球菌のワクチンなど、現在Gaviが活動に含めているワクチンポートフォリオの継続です。次期の支援対象とすることが新たに承認されたワクチンには、ジフテリア・破傷風・百日咳 (DTP) 追加接種、出生時B型肝炎ワクチン、多価髄膜炎菌ワクチン、RSVワクチン、定期的経口コレラワクチン、狂犬病ワクチンなどがあり、これらにかかる費用は3億6,000万ドルに上ります。また、Gavi理事会ではエボラワクチン備蓄へのさらなる投資を採択することもできますが、これにかかる追加費用は1億5,000万米ドルと見込まれています。通常活動や大流行への対応を補完する予防・保護活動を行うに際して非常に重要になるのは、ターゲットを絞ったキャンペーンに必要に応じた投資を行うことです。

不活化ポリオワクチン (IPV) の接種を継続し**ポリオの再発生から世界を守る**ために、Gaviでは8億米ドルを充てる予定です。

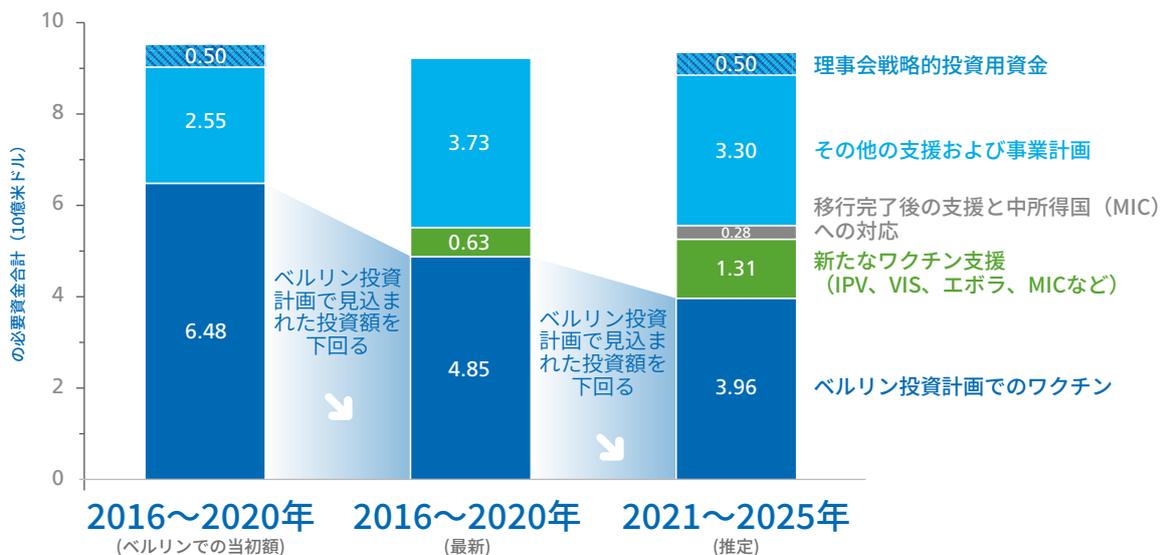
2016~2020年の投資機会に基づく活動により、ワクチン接種率は上昇を続けている一方で、ベルリンでの約束通り、これらのワクチン接種にかかる費用は減少しています。ワクチン価格が低

下したこと、協調融資する国が増加したこと、またGavi支援国から卒業した国があることで、費用が抑えられているのです。これらの要因を総合すると、2016年から2020年におけるワクチン接種費用は、ベルリンで予想された64億8,000万米ドルから、39億6,000万米ドルに減少することが予測されています。**Gaviは、これまでの歴史において最も踏み込んだ投資を行っていますが、このようなGaviモデルにより、ドナーからの拠出金がより効率的に使われるようになっていきます。**

予防接種制度とインフラへの投資

Gaviは次期において予防接種制度とインフラストラクチャーに33億ドルを投資します。投資の対象には、誰であろうと、どこに住んでいようと、**すべての人にワクチンを提供する公平かつ持続可能な制度**への道筋を各国に整備するためには欠かせない活動も含まれます。この取り組みでは、Partners Engagement Framework (パートナー協力の枠組み) と運営経費を含み、Cash Grant Support (無償資金提供) とインフラを組み合わせ活用します。各コミュニティに効率的かつ効果的にワクチンを届けることを目指し、個々の状況に合わせて支援を実施していくには、このような支援が非常に大切です。

>図10 ワクチン接種資金調達の推移



*ベルリンの投資計画のワクチンには、肺炎球菌、五種混合、ロタウイルス、HPV、黄熱病、麻疹および風疹、腸チフス、コレラ、髄膜炎、および日本脳炎が含まれます。

ワクチン接種31億回

↑
ワクチン用量の増加

ワクチン接種32億回

Gaviアライアンスは次の戦略的期間において、各国の**保健システム強化**に11億ドルを補助金として提供し、予防接種のために最も重要な保健システムに関わる項目の強化を目指します。このような項目には、サプライチェーン、データシステム、コミュニティにおける協力体制、ジェンダートランスフォーマティブな戦略、需要の創出、リーダーシップと運営能力などがあります。今後の予防接種サービスでは、これまでに対応できていないコミュニティに支援を届け、公平な接種を妨げる障壁を克服する活動を拡充させることに、より多くの資金を充てる予定です。

Gaviは、学習する機関として、**プログラム評価が常に実施される**ことが重要と考えています。評価活動に引き続き資金を割り当て、各国や予防接種のステークホルダーに対する支援を継続的に改善していけるように、おおよそ9,000万米ドルを充てる予定です。

移行完了後の支援と中所得国(MIC)への対応

移行完了国にターゲットを絞った支援のため、最大2億8,100万米ドル(Gaviの総支出額の最大3%)の予算が組まれています。Gavi理事会はこの予算の中から、中所得国の中でも所得のより低い国に対して、国による活動を促進するようなターゲットを絞った短期間の介入を決定し、新たなワクチンの導入やより公平なワクチン接種を目指して、各国の資金源をより効果的に活用する手助けを行うことができます。2030年までに予防接種を十分に受けていない子どものうち70%がMICに所属することが予測されているため、このことは特に重要です^{xxxix}。

Gaviの支援対象になったことのない中所得国は一人当たり国民総所得(GNI)が4,000米ドルを下回り、Gaviの支援対象国と同様の問題に直面しています。Gavi事務局はこのような国に対しても同様の方法による取り組みが適用できるかどうか検討します。また、一人当たりGNIが6,000米ドルを下回る中所得国に対しても、何らかの施策を検討しますが、その方法は多少異なります。Gavi理事会が最もふさわしい方法を採用します。このような取り組みを促進するような革新的な資金調達メカニズムについても検討します。

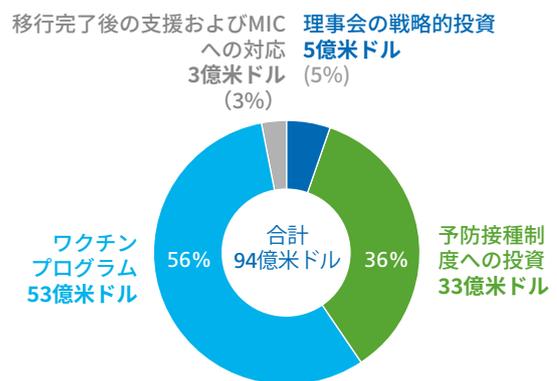
理事会の戦略的投資

投資機会(2016~2020年)と同様、次期においても**戦略的投資に5億米ドルが割り当てられます**。この資金は、予測できなかった課題や未対応のコミュニティに支援を届ける機会に対応するために非常に重要です。Gavi理事会はこの枠組みを柔軟に活用して、緊急事態への適切な対応、新たなツールや未対応のコミュニティに対するアプローチへの投資を承認します。2016年から2020年においては、この枠組みの主な用途は、新たなワクチンの展開と出生数が最も多い国であるインドでの接種率向上でした。また、シリアへの支援のみならず、麻疹と風疹の接種拡大にも使用し、合わせておおよそ100万人の命を救う結果となりました。

次期の理事会戦略的投資では、新たなワクチン接種を促進し、不安定な環境に対応して、接種率の低い場所で積極的な活動を行うとともに、各国やコミュニティにおいてすべての人が健康的で福祉の充実した生活を送れるように、速やかにイノベーションを拡充することを目指します。

Gaviは1米ドルあたり97セントをワクチンプログラム支援に充てており、2021年から2025年においてもこの効率的なモデルを継続します。Gavi事務局は引き続きGaviアライアンスの活動の調整、理事会の補助、資源の管理、進捗状況のモニタリング、評価を行い、関節費用は3%未満に抑えます。

> 図11 2021~2025年におけるGavi支出の概要



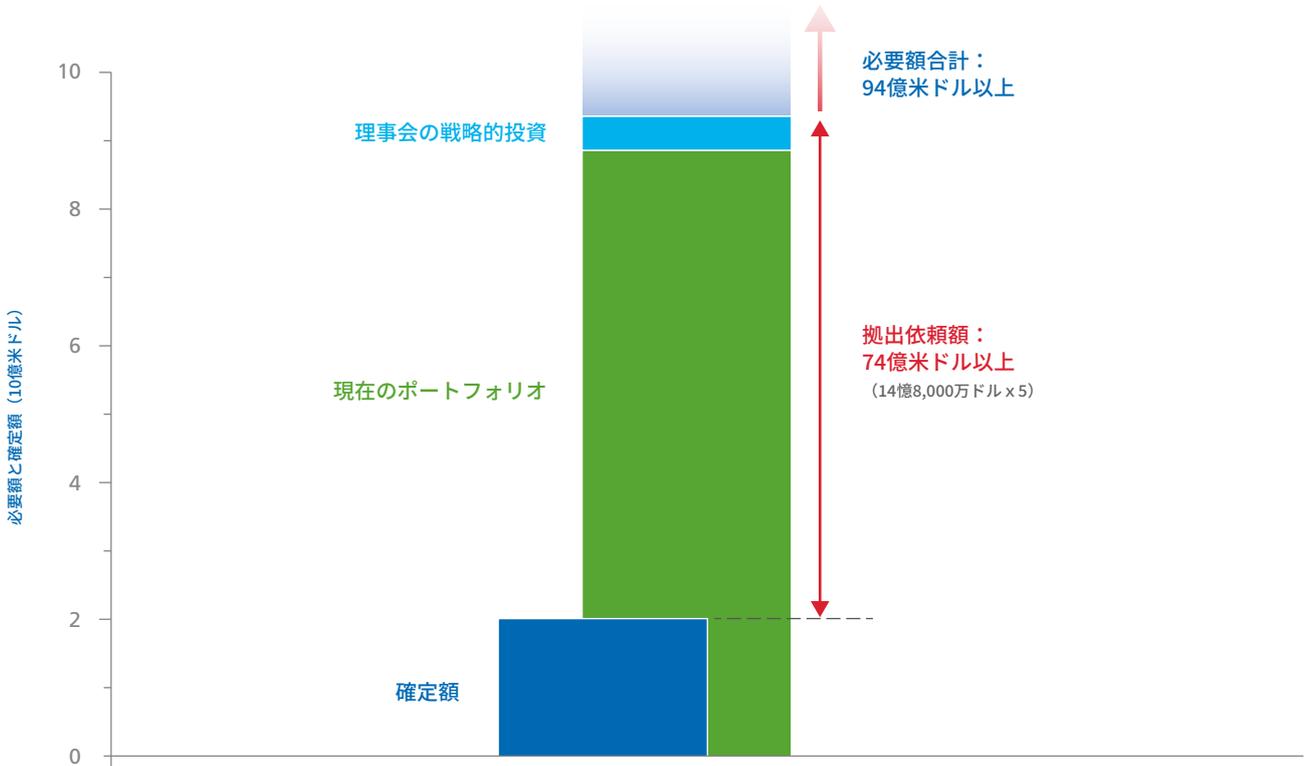
2021～2025年の確定資金

Gaviでは次期戦略期の資金として既に20億米ドルを確保できます。その内訳は、主に予防接種のための国際金融ファシリティ (IFFIm) へのドナーからの既存拠出金および延長予定の予備拠出金、投資収益、Gavi保有現金の引き出し、投資準備金です。したがって、**2021年から2025年には少なくとも74億米ドル** (年間平均必要額14億8,000万米ドル) を、直接的な資金提供や、IFFImへの新たな拠出金からの収入を含む革新的資金源から調達しなければなりません。

国々の政治的意志と投資、アライアンスとパートナーの創意工夫、そしてドナーの寛大さによって、すべての人がワクチン接種できる世界を実現することができます。

IFFImは2006年にワクチン債を開始して以降、予測可能かつ柔軟な資金を長期にわたり調達しています。これまでの各期間に前倒して資金を調達してきたため、現在は償却段階に入っており、ドナーからの受取額がIFFImからGaviへの引渡額を上回っています。これは当初計画通りの運営です。IFFImの現時点での資産残高および支払いスケジュールを考慮すると、2021年から2025年の戦略期の半ばには資金は漸減に転じ、この傾向の逆転は不可能であり、将来的にGaviはIFFImから資金を調達することができなくなるものと考えられます。次期においてもIFFImの制度を介した資金の拠出に興味があり、またそれが可能なドナーがあれば、IFFImを介した新たな資金調達方法により、Gaviは柔軟かつ長期にわたる新規資金を得て、プログラムに資金を投入することができます。世界における予防接種に対して大きな影響を迅速にもたらしたいと考えている各ドナーには、IFFImへの長期的な支援をお願いするものです。

> 図12 2021～2025年にGaviが必要とする額



リスクの緩和

Gaviのリスク管理アプローチは、資源を効果的かつ効率的に配分するための強力なツールです。透明性のある報告、重要業績評価指標の追跡ならびに未知既知リスクに関するステークホルダーへの頻繁なコミュニケーションなどの対応すべてが正確なプランニング、アドボカシー、リスク緩和の実施を可能にしています。

この投資機会には3つの重大なリスクがあります。

財務リスク

2021～2025年の間に十分な資源が配分されなければ、これまでの非常に大きな進歩が後退するというリスクが現実のものとなるでしょう。この投資機会に世界から十分な資金提供が行われなければ、プログラムの優先順位について難しい選択を行う必要があります。すべての通常プログラム、ターゲットを絞った予防キャンペーン、そして疾患の大流行リスク増大から世界を守るワクチン備蓄に資金を提供できない可能性があります。こうした状況は、最も貧しい人々が健康な生活を送る能力だけでなく、彼らが生き生きと人生を送り、永遠に貧困から抜け出す能力にも影響を及ぼします。ワクチンがない世界で疾患の大流行が発生すれば、不必要な苦痛や収入損失が家族やコミュニティに莫大な経済的損失を引き起こすだけでなく、貿易の損失、生産性の低下、医療サービスの衰退も何倍にもなります。苦勞して手にした利益がすべて失われてしまうばかりか、強固に結びついたこの世界ではグローバルな影響はさらに大きくなります。疾患を根絶する措置を講じなければ、世界の繁栄と安全は大きな脅威にさらされる可能性があります。

供給リスク

Gaviの官民パートナーシップモデルは前例のない規模の予防接種プログラムを構築し、コミュニティ、国およびワクチン製造業者に利益をもたらしています。必要とする量・品質のワクチンが利用できるという確固たる自信を持って各国が計画を策定でき、一方で、製造業者が生産計画を立て支払い保証を受けられるようにするため、Gaviは供給ショックと供給不足のリスクを軽減する努力を継続します。この努力は、新規および実績のある製造業者との連携を通じてなされ、健全な競争を通じて基盤の拡大とリスク緩和を行います。Gaviが継続的に各国を支援できるか否かは、ワクチン購入者としてのGaviの魅力だけでなく、製造業者の生産能力にも依拠しています。Gaviは、必要とする供給量入手できない国があるというリスクの排除に向け対策を講じていきます。ワクチンの入手可能性が、英国の子どもとシエラレオネの子どもの間で異なっていないはいけなからず。

公平リスク

Gaviの支援は、各国に最も優れた触媒資本、技術的アドバイスおよび調整機能を提供できるよう構成されています。2021～2025年は、公平の原則を基盤とした取り組みを予定していますが、「まずはラストマイル」への支援を実現し、ふだんは目に見えない課題を明らかにします。すなわち、最も必要としている人々に予防接種サービスを提供します。リスクとして挙げられるのは、こうした取り組みを実現するために必要な要素がGaviの目標達成に結びついていないという点です。予防接種が行われていないコミュニティに支援を届けようとしても、資金受け入れ国のオーナーシップ(主体性)や政治的意思が一定性を欠いたり、予防接種がシステム化されている国で予防接種を確実に継続して実施する体制に課題がある、あるいは不正確なデータや不適切な技術的アドバイスをもとに設計されたプログラムが準最適である、といった点に及びます。Gaviの規模と各国主導のアプローチ、Gaviの包括的な連携体制、そして事務局の専門性と新しいツールやアプローチとの連携、これらを相互に活かすことで実質的な緩和策を構築します。



大胆な目標達成に向けた連携

ハンス・ロスリング著『FACTFULNESS (ファクトフルネス)』では、矛盾のない断固とした行動が、今世紀以降の比類ない医療投資収益を生み出したと記されています。事実が示していること、それは、ワクチンは他のどんな医療介入よりも多くの人々に届いているということ、豊かな国と貧しい国の間にあるワクチンへのアクセスギャップは、Gaviの設立以降、著しく縮小したということです。このデータは、人類史上かつてないほどの人口増加時代にこのような進歩が成し遂げられたことを気づかせてくれます。非常に大きな進歩ではあるが、私たちの仕事はまだ終わってはいません。

各国によるリーダーシップのもと、Gaviはダイナミックなモデルを活用し、より低いコストでより多くのワクチンを提供しています。その間各国は、Gaviの支援から移行するまでにコスト負担を増やしていきます。こうした取り組みがドナーからの予防接種に対する投資を効率化しています。

財務に関しては、過去の実績は将来の結果の指標にはならないと言われてしています。開発協力では正反対です。この投資機会は、かつてないほどの命を救い、多くの人々の人生を肯定する繁栄を約束します。次の世代を守り、人々と地球の未来の繁栄に貢献し、数億人もの人々に喜びと幸福をもたらします。こうした約束が実現していたなら、彼らの祖父母の人生は全く違うものになっていたでしょう。この約束は実現可能であり、私たちの手の届くところにあるのです。

子どもを亡くすこと、子どもが一生続く障害を発症する様子をじっと見守るしかできないことは、親にとってこれ以上ない苦痛です。予防策を提供することで子どもたちは健康に成長し、あらゆる可能性を発揮できます。私たちが次の世代に残していくものの中には多くの課題があります。予防接種を通じて、課題に挑み対処する機会を彼らに提供する役割をGaviが担いたいと考えます。

今こそ、予防接種(普及)率を加速させ、継続させるために、Gaviのこれまでの投資と歴史的な成果から得られた前例のない利益を活かす時です。Gaviはこれまでで最も完全な予防・保護のパッケージを提供することができます。Gaviの連携モデルは、市場を保証し各国の需要を統合することでワクチン製造業者から継続的にイノベーションを引き出しています。Gaviは優位な立場で管理役を務めることで世界の健康と予防接種いづれに対しても最高の資源をもたらしています。SDGsの最後の10年で、Gaviは何億ものコミュニティや家族に保護、予防、繁栄を提供することができます。

各国の政治的意志と投資、Gaviとパートナーの独創性、そしてドナーの寛大さによって、Gaviは**すべての人にワクチンが届く**世界を実現することができます。



Gavi/2018/Tony Noel

文末脚注

- ⁱ 国連死亡率推計に関する機関間グループ (UN-IGME) 出典：<https://childmortality.org/data>
- ⁱⁱ 国連経済社会局 (DESA) 人口部「世界人口推計2019年改訂版」出典：<https://population.un.org/wpp/>
- ⁱⁱⁱ WHOおよび保険指標評価研究所が発行した死因推定に基づく。詳細については、手法に関する付録を参照。
- ^{iv} Gaviの「2016年～2020年中間レビュー報告書」出典：<http://gotlife.gavi.org/mtr-event/mtr-report/>
- ^v 例として、以下を参照：
- Nandi A, Shet A, Behrman JR, et al. 「麻疹予防接種の人体測定、認知、および学校教育に関する利点：エチオピア、インド、およびベトナムにおける経時的コホート解析」 *Vaccine* 2019, 37; Nandi, A, Deolalikar, A.B., Bloom, D.E. and Laxminarayan, R. 「ヘモフィルス・インフルエンザ菌B型の予防接種とインドの子どもの人体測定、認知、および学校教育に関する結果」. *Annals of the New York Academy of Sciences* 2019; Driessen J, Razzaque A, Walker D, Canning D. 「バングラデシュのMatlabの学校入学に対する小児麻疹ワクチン接種の効果」 *Applied Economics* 2015. 47(55); Doherty M, Buchy P, Standaert B, Giaquinto C, Prado-Cohrs D. 「ワクチンの影響：ヒトの健康に対する利点」 *Vaccine* 2016 34(52).
- ^{vi} 2019年7月更新のWHO/ユニセフによる全国予防接種率推定値 (WUENIC) に基づく
- ^{vii} 2019年7月18日付WHO予防接種ファクトシート 出典：<https://www.who.int/news-room/facts-in-pictures/detail/immunization>
- ^{viii} 1日あたり1.90ドルの国際貧困ラインにおける貧困者比率に関する世界銀行のデータと併合した、予防接種率と家庭の資産に関する世帯調査データの分析に基づく。詳細については、手法に関する付録を参照。
- ^{ix} Cancer Today、国際がん研究機関、WHO 出典：<http://gco.iarc.fr/today/home>
- ^x ジョーンズホプキンス大学 - 国際ワクチンアクセスセンター - (IVAC)、2019年「方法論に関する報告書：ワクチンの経済学の10年 (DOVE) 投資収益率分析」
出典：<http://immunizationeconomics.org/dove-roi>
- Gaviの支援国における予防接種の投資収益率を48:1と推定したOzawaら (2016年) の最初の研究に対する最近の更新に基づく。以下の最初の研究を参照：Ozawa S, Clark S, Portnoy A, Grewal S, Brenzel L, Walker DG. 「低所得国における幼児期の予防接種の投資収益率」 *Health Affairs* 2016, 35(2): 199-207.
- ^{xi} 影響数の推定に使用される方法は、手法に関する付録に記載している。接種数は、予防接種を受けた重複しない子どものGaviの戦略指標と一致しており、Gavi運用予測を使用して計算した。回避可能な将来の死者数は、2019年1月更新のワクチン影響モデリングコンソーシアムの影響モデルを使用して推定した。
- ^{xii} 2018年11月更新のGavi運用予測に基づく。Gaviの予測では、IMFの各国のGDP成長予測を使用して、国の適格性を予測している。
- ^{xiii} 2018年11月更新のGavi運用予測、国の需要の予測、および協調融資の現行規則の適用に基づく。この推定値には、キャンペーン、新たなVISのワクチン、およびIPVに対する協調融資は含まれていない。推定値には、ワクチンの現在の消費量に関して入手可能な最新データに基づいたインドのGavi事務局の推定値が含まれる。
- ^{xiv} Gaviの支援による予防接種から期待される経済的利益は、ジョーンズホプキンス大学の国際ワクチンアクセスセンター (IVAC) がDOVE疾病費用 (DOVE-COI) モデルを使用して推定した。これらのモデルでは、2018年11月更新のGavi運用予測で指定された予防接種率の達成に伴う短期および長期コストを回避する価値を算出する。詳細については、手法に関する付録を参照。
- ^{xv} Gaviアライアンス 供給・調達ロードマップは、各ワクチンまたは各予防接種製品に対するGaviの長期的な市場目標を決定する（一般向け要約版は<https://www.gavi.org/about/market-shaping/supply-and-procurement-roadmaps/>を参照）。このロードマップは、特定のワクチンや製品に関して市場をどのように発展させるかについての短期的および長期的な見解を提示し、それに影響を与えることができる機構を特定する。Gavi5.0の戦略期間全体を通じ、特に、新規市場参入者と製造業者からの追加の供給可能性の結果としての競争力と供給保証に関し、Gaviが支援する5つ以上の市場が健全な市場力学の改善を示すと予想される。Gaviアライアンスの健康市場フレームワーク (HMF) は、市場の健全な状態を評価し、経時的な進行を追跡するためのツールとして使用され、現在Gavi4.0 SG4指標の1つの基礎となっている。HMFおよびSG4指標の詳細については、以下のウェブサイトを参照。<https://www.gavi.org/library/gavi-documents/supply-procurement/healthy-markets-framework--public-overview/>; <https://www.gavi.org/results/measuring/2016-2020-indicators/market-shaping-goal/>
- ^{xvi} Gaviが2019年6月現在の財務予測に従って2021年から2025年までに調達する推定用量。70カ国のIPV接種を含む。
- ^{xvii} 予想される保健システムの接点は、Gaviの将来的なワクチン接種率の予測とGaviの支援によるワクチンの接種スケジュールに基づいて算出され、次の戦略期間に予想される予防接種を行うために必要な個別の保健システムの接点の数を数えている。詳細については、手法に関する付録に記載している。
- ^{xviii} 潜在的に調整の対象となる予備的な推定。ジョーンズ・ホプキンス大学-国際ワクチン・アクセス・センター (IVAC)、2019。方法論レポート：10年のワクチン経済学 (DOVE) 投資収益分析
出典：<http://immunizationeconomics.org/dove-roi>
- ^{xix} ユニセフの供給部門 (SD) と自主調達の国々によって報告された実情に基づく2016年から2018年までの協調融資データ。
2018年11月更新のGavi運用予測に基づく2019年から2020年までの協調融資。2016年から2020年までの自己資金額は、Gaviの予測およびGavi価格からの需要用量の推定に基づく。

- xx 卒業国の接種率とは、2019年7月更新のWHO/ユニセフ全国予防接種率の推定値 (WUENIC) のDTP3接種率を指す。注：ポリビアを除く (2017年から2018年の間に接種率が84%から83%に減少)。
- xxi GaviによるHPVの予測は2019年6月に更新されており、さまざまな供給およびプログラムのシナリオで入手可能な最新情報を反映している。詳細については、手法に関する付録を参照。
- xxii WUENICの推定値によると、2018年のGavi 68の各国におけるBCG、DTP1、DTP3の接種率はそれぞれ85%、87%、81%であった。
- xxiii Gavi 68の各国で通常のシステムを介して予防接種を受けた子どもの数に、一連のワクチン接種を完了するために必要な投与回数を掛け、さまざまなワクチンで合計したところ7億5,000万回と算出された。詳細については、手法に関する付録を参照。予防接種を受けた子どもの数、6,500万人超の人数は、Gavi 68の各国でDTPワクチンの接種を受けた子どもの数を示している。詳細については、手法に関する付録を参照。
- xxiv 過去18年間における予防接種を受けた子どもの数の50%超の増加は、Gavi 68の各国で2000年と比較したものであり、2018年に3回目のDTPの予防接種を受けた子どもの総数を指す。接種を受けていない子どもの数の減少は、Gavi 68の各国で2000年と比較したものであり、2018年にDTPの初回接種のみを受けた子どもの数を指す。これらの推定値は、2018年7月に更新されたWHO/ユニセフ全国予防接種率の推定値 (WUENIC) を使用して生成された。
- xxv 接種を受けていない子どもの数、毎年1,500万人は、2018年にDTPの初回接種しかを受けていないGavi68の各国在住の子どもの総数を指す。初回接種を受けていない子どもの数、1,000万人は、2018年に初回接種を受けていないGavi68の各国在住の子どもの総数を指す。これらの推定値は、2018年7月に更新されたWHO/ユニセフ全国予防接種率の推定値 (WUENIC) に基づく。
- xxvi 2018年5月16日付 世界人口の68%が2050年までに都市部に住むと予測されている、とDESA国連経済社会局
出典：<https://www.un.org/development/desa/en/news/population/2018-revision-of-world-urbanization-prospects.html>
- xxvii Crocker-Buque, T., Mindra, G., Duncan, R., & Mounier-Jack, S. 「予防接種、都市化、スラム - 要因および介入の体系的レビュー」 *BMC Public Health* 2017, 17(1): 556.
- xxviii エチオピア人口統計調査2016年、p 164
出典：<https://dhsprogram.com/pubs/pdf/FR328/FR328.pdf>
- xxix Crocker-Buque, T. et al. (2017)
- xxx 世界銀行「2014年-2015年西アフリカエボラ危機：影響の最新情報」2016年5月
出典：<https://www.worldbank.org/en/topic/macroeconomics/publication/2014-2015-west-africa-ebola-crisis-impact-update>
- xxxi Gaviが支援する備蓄を通じて予防接種を受けた人数は、廃棄分について調整した備蓄からアクセスされた用量を1人に予防接種を行うために必要な用量数で除することによって計算した。アクセスした用量数はユニセフSDから得た。廃棄率と完全に予防接種を受ける人一人あたりの用量は、Gavi Detailed Product Profiles (2018年6月更新) から得た。
出典：<https://www.gavi.org/about/market-shaping/detailed-product-profiles/>
- xxxii 世界ポリオ撲滅イニシアチブ (GPEI) 「ファクトシート」2019年3月
出典：<http://polioeradication.org/wp-content/uploads/2019/03/GPEI-Fact-Sheet-March-2019-20190315.pdf>
- xxxiii 「持続可能な世界を継承する？子どもの健康と環境に関する地図」ジュネーブ：世界保健機関 2017年
- xxxiv Ryan SJ, Carlson CJ, Mordecai EA, Johnson LR. 「気候変動に伴うヤブカ媒介ウイルス感染リスクの世界的拡大と分布の変化」 *PLoS neglected tropical diseases* 2019. 13(3): e0007213.
- xxxv Chang AY, Riumallo-Heri C, Perales NA et al. 「将来のワクチンが41か国において死亡と病気による窮乏化の回避に及ぼす影響」 *Health Affairs* 2018, 37(2):316-324.
Riumallo-Herl C, Chang AY, Clark S, Constenla D, Clark A, Brenzel L, Verguet S. 「低所得国および中所得国における麻疹、ロタウイルスおよび肺炎球菌ワクチンの導入または拡大が貧困削減と公平性拡大に及ぼす効果：モデリング研究」 *BMJ global health* 2018, 3(2): e000613.
- xxxvi 2019年4月10日付Development Initiatives予備ODAデータ2018-2年連続で減少
出典：<http://devinit.org/post/final-oda-data-2018-message>
- xxxvii 2021年から2025年の市場形成による節約効果は、最新の財務予測 (2019年の価格と需要予測に基づく) を、2015年のユニセフ価格をすべての年に適用する反事実的な財務予測と比較して計算している。2016年から2020年の市場形成による節約効果は、実際のコストと最新の財務予測 (UNICEF 2016~2018年の出荷データと2019年の価格と需要予測に基づく) を、2015年のUNICEF価格をすべての年に適用する反事実的な財務予測と比較して計算している。なお、節約額はGavi事務局費用のみであり、それぞれの国の費用 (最新の2019年需要予測内のGavi資金負担ワクチン用量と国資金負担用量の比較に基づく) は含まれていない。
- xxxviii Gaviに事前認定されたGaviへの供給元と製造業者 (2019年UNICEFデータに基づく) は次の通り。Bharat Biotech、Bilthoven Biological (Serum Institute of India)、Biological E、Bio-Manguinhos、CDIBP (CNBG)、Chumakov Institute、EuBiologics、GlaxoSmith Kline、Institute Pasteur Dakar、LG Life Sciences、Merck & Co.、Panacea Biotech、Pfizer、PT Bio Farma、Sanofi Pasteur、Shantha Biotechnics (Sanofi Pasteur)、Serum Institute of India
- xxxix Gavi 運用予測に基づく。予防接種不足は、3回目のDTP接種を受けていない子どもを指す

Gaviアライアンスのメンバー

**BILL & MELINDA
GATES foundation**

ビル&メリンダ・ゲイツ財団

1999年にビル&メリンダ・ゲイツ財団が提供した支援金7.5億米ドルがGavi設立の元手資金となった。財団はアライアンスのワクチン市場形成への取り組みにおいて、技術的・財政的な役割を担い、強力な支援を継続している。



世界保健機関 (WHO)

Gaviの設立時メンバーとして、また世界的医療問題についての国際連合の専門機関として重要なアライアンス・パートナーである。WHOは研究開発を支援し、ワクチンの質に関する基準を設定し規制する。また、エビデンスに基づいた政策的選択オプションを策定することで、ワクチン使用や各国のワクチンへのアクセスを最大化するための支援を行う。



国連児童基金 (UNICEF)

世界最大のワクチン購買機関、また発展途上国への供給機関としてアライアンスにかかわって調達を実施する。UNICEFは、Gaviが支援する国々における予防接種プログラムの実施と、アライアンスの政策策定の双方で重要な役割を担う。また、Gaviが支援する各国が、予防接種率やその公平性を改善するにあたっての障害を分析し克服する手助けをする。



世界銀行

国際復興開発銀行 (IBRD) ・ 国際開発協会 (IDA) | 世界銀行グループ

世界最大の開発支援資金機関としての専門知識をアライアンスに提供している。また、Gaviの革新的資金調達に対する信用を保証する機関でもある。世界銀行はまた、IFFIの設立を支援し、その財政顧問でもある。更に、肺炎球菌ワクチンの製造とデリバリーの加速化を助けるワクチン事前買取制度 (AMC) の支援も行っている。

パートナー

発展途上国政府

発展途上国はアライアンスの最も重要なパートナーです。彼らは予防接種の必要性を特定し、協調融資を行い、ワクチンプログラムを実施します。

ドナー国政府

ドナー国政府の経験と資金により、開発プログラムで保健が優先されアライアンスに必要な資金が確保されます。

市民社会団体

市民社会団体は、遠隔地へのワクチンの提供、ワクチンプログラムの実施、予防接種に対するアドボカシーを支援します。

製薬会社

Gaviはワクチン製造業者とパートナーシップを結び、途上国のニーズを満たすワクチンを供給するためのリサーチや技術的な知見を強化します。Gaviにワクチンを提供するサプライヤーの半数以上が新興国の製薬会社です。

民間部門

Gaviは、民間セクターのイノベーション、専門知識、およびリソースを活用して、ワクチン運搬、需要の予測や創出に関する課題に対処しています。

研究および技術保健機関

リサーチコミュニティと連携することで、Gaviは科学、医療、製品の配信するコミュニティの持つ最新情報と知見を活用できます。Gaviの技術パートナーは、予防接種プログラムの改善に向けて支援を提供します。

持続可能な開発目標へのGaviの貢献

予防接種は世界の保健衛生におけるベストバイの1つであり、SDGsを達する鍵である。

1. 貧困をなくそう

健康な子どもたちと家族 = 繁栄



予防接種は自己負担の高い医療費によって人々が窮乏するのを防ぐ。毎年、医療費によって約1億の人が貧困ライン以下、つまり1日の世帯収入が1.90米ドル未満の生活に追いやられている。予防接種は高価な治療より予防に力を入れることで2030年までに低所得・中所得国の2,400万世帯が貧困に陥るのを阻止する。

2. 飢餓をゼロに

予防接種 + 栄養 = より健康な家族



予防接種と栄養のある食事の両方は子どもの死亡率を削減する助けになる。ワクチンで予防できる疾患は多くの場合、少ない栄養しか摂っていない子どもを栄養不良にする。これは疾患が必須栄養素の吸収を妨げるからである。栄養が不十分な子どもは下痢、麻疹、肺炎などの感染症で死亡する確率がより高く、その多くはワクチンで予防できる。

3. すべての人に健康と福祉を

予防接種 = 健康な生活と福祉



予防接種は健康な生活と福祉を確保する最も費用効果の高い処置である。ワクチンは毎年、何百万人の人を疾患と障害から守り200万人から300万人の命を救っている。しかも予防接種の効果はそこで止まらない。他のどの医療サービスよりも予防接種は定期的に世帯に届き、定期的にコミュニティの人々を保健システムに接触させる。こうした効果はユニバーサル・ヘルス・カバレッジを築く効果的な基盤となる。

4. 質の高い教育をみんなに

ワクチン = 学習能力の向上



ワクチンは子どもたちの健康を守り認知発達を支えることによって学校での成績をよくし、より多くの機会を与える。教育の利益は子どもたちにも両親にも届く。教育を受けた両親の子どもたちは予防接種を受ける機会が多く栄養も十分に摂りより健康な暮らしを享受する。

5. ジェンダー平等を実現しよう

予防接種 = 女性と少女のエンパワメント



世界的に女兒と男児では予防接種率に差はない。しかし準国家レベルでは男児と女兒の予防接種率に差がある国がある。Gaviは予防接種サービスに対するジェンダー関連の障壁に対処するため各国が集中的に取り組めるよう支援する。これは大きな社会的・経済的利益を女兒と女性にもたらす。Gaviが支援するヒトパピローマウイルスと風疹の2つのワクチンは特に女性と女兒の健康に資する。

6. 安全な水とトイレをみんなに

WASH + ワクチン = 疾患の減少



綺麗な水、衛生設備や衛生 (WASH: 清浄な水[WA]、衛生設備[S]、衛生[H]) と並んで、ワクチンは発展途上国の子どもの死亡率の主な原因である下痢の予防に効果があると証明された介入策である。経口のコレラとロタウイルスワクチンへの投資、WASH、保健システムは下痢疾患の排除を助ける統合的手法である。

7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに

効率のよい設備 = よりきれいな環境



予防接種は発展途上国の保健システムに新しい、よりきれいな、より持続可能な技術をもたらす。例えばGaviのコールドチェーン機器最適化プラットフォームは各国に太陽光線直結駆動でエネルギーの使用効率が高い冷蔵庫・冷凍庫を供給している。これらの冷蔵庫・冷凍庫はより信頼でき費用効果があるだけでなく環境によりやさしい。最適なエネルギーを確保するためと無駄を減らすためにGaviの支援にはモニタリング装置も含まれる。Gaviは、夜間の供給などの他のサービスにクリーンなエネルギーを供給するために、医療センターで余剰なエネルギーを使うことを探究している。

8. 働きがいも経済成長も

健康な人口 = より生産的な労働人口



人的資本への投資は国の競争性を劇的に高める。予防接種を受けた健康な子どもたちは生産的な労働人口に成長し、経済に大きく貢献する。また健康な子どもたちは両親の時間を束縛せず、両親が働くことができる。Gaviが支援する国では予防接種にかけた1米ドルごとに54米ドルの利益が生まれ、人々は寿命を伸ばし健康な生活を享受している。

9. 産業と技術革新の基盤をつくらう

健全なワクチン市場 = 革新



予防接種への需要を一括し、共同出資をすることにより、Gaviの支援がなければ存在していない健全なワクチン市場を形成する助けをしている。Gaviの予防接種プログラム支援はワクチンの研究と製品開発への投資をも促している。2000年に支援を開始して以降、Gaviは新しい製造業者からのワクチン供給を著しく増加させてきた。Gaviが調達する大部分のワクチンは発展途上国で生産されている。

10. 人や国の不平等をなくそう

より健康であること = より公平であること



公平な予防接種の接種率が上がると、コミュニティは健康になり、貧困に陥る人が減り、子どもたちはより健康で生産的な将来の機会を公平に手に入れる。最も貧しく社会の隅に追いやられている人々（特に都市部の貧困層、都市から離れた地方や紛争地域に住む人々）に焦点をあてることで、Gaviは医療サービスを十分に受けていないコミュニティに予防接種とプライマリヘルスケアのサービスをもたらす。

11. 住み続けられるまちづくりを

予防接種 = より健康な都市



2030年までには世界の約60%が都市に住むことになる。予防接種は人口密度の高い都市に住む人々を疾患の大流行から守る費用効果がある処置である。予防接種率の向上は、高まる感染性疾患のリスクを削減またはなくし、持続可能な都市の成長を促進する。予防接種におけるイノベーションは都市の他の医療介入に転用することができる。

13. 気候変動に具体的な対策を

ワクチン = 気候変動による影響の緩和



気候変動の影響は人々の福祉、生活、健康、安全、そして社会（特に脆弱で、社会の隅に追いやられているコミュニティや一定の場所に定住しない人）におよぶ。ワクチンは特に、都市、不安定な環境、災害後の環境において、黄熱病やコレラなど気候変動と結びつきのある疾患が大流行するリスクに対し、人々のレジリエンスを高め、こうしたリスクを緩和するのに重要である。

16. 平和と公正をすべての人に

強固な保健システム = 長期の安定



健康は社会の平和と福祉の重要な決定要因である。人が中心の医療制度は各国の中心的な社会制度であり、予防接種は多くの場合こうした制度と人々が最初に接触する場所である。このようにGaviの支援は人々の信頼を築き、社会的一体性を強め、平和で包括的な社会をつくることに貢献している。

17. パートナリシップで目標を達成しよう

革新的パートナーシップ = 前例のない発展



この20年でGaviアライアンスの革新的官民パートナーシップは予防接種、健康や開発の世界的発展を一変させた。世界的な子どもの死亡率は現在、過去最低である。新しいワクチンは、裕福な国とほとんど同じ速さで、そして多くの場合、裕福な国の何分の一かの価格で発展途上国に届いている。民間部門と公的部門の連携と革新的な取り組みがなければこれらの目標を達することはできなかった。

Gaviが支援するワクチンが有効な疾患

コレラ



コレラは貧困と不公平の疾患であり、水供給設備・衛生設備が整っていない地域または人道的危機に面している地域にほぼ限定される。コレラは感染力の高い疾患で急性の水様性の下痢や重篤な脱水症状を起こすことがある。小児も成人も発症することがあり治療しなければ数時間のうちに死亡する場合もある。

麻疹



麻疹は感染力が極めて強い急性ウイルス性呼吸器感染症で世界的に小児の死の主な原因であり続けている。重篤な合併症には失明、脳炎（脳の腫脹を起こす感染症）、ひどい下痢と下痢と関連した脱水症状、耳の感染症、肺炎などの重度の呼吸器感染症がある。麻疹による死亡の95%以上が1人当たりの収入が低く医療の基本的施設が脆弱な国で起こっている。

エボラ出血熱



エボラ出血熱はヒトや他の霊長類がかかる重篤な病気で死亡率が高い。ウイルスは野生の動物（オオコウモリ、ヤマアラシ、ヒト以外の霊長類など）からヒトに感染する。そこからはヒトの集団の中、感染者の血液、分泌液、他の体液に直接触れることによって感染していく。

A型髄膜炎髄膜炎と多価髄膜炎菌髄膜炎



髄膜炎菌性髄膜炎は脳および脊髄を覆う薄い膜の重篤な感染症である細菌性髄膜炎である。治療をしないと50%の確率で死に至り、生存者の10%から20%に脳損傷、聴力損失、障害が起こることがある。髄膜炎菌性髄膜炎は世界的に発症するが西はセネガルから東はエチオピアに伸びるサハラ砂漠以南のアフリカ髄膜炎ベルトで最も多く発症する。

ヒトパピローマウイルス (HPV)



HPVは世界各地で見られる非常に普遍的なウイルス群である。主に性接触感染をし、多くの人は性行為を始めてすぐ感染する。HPVは子宮頸がんの主な原因で、検査と治療のアクセスが悪い資源に乏しい国において女性のがんによる死亡の主な原因である。

肺炎球菌感染症



肺炎球菌による感染症である。耳や鼻の感染症、より重度の侵襲性の血流感染症や髄膜炎を起こす脳や骨髄を覆っている体液の感染などさまざまな病気を引き起こすことがある。肺炎は5歳未満の子どもの主な死因である。研究によると、肺炎球菌ワクチンの予防接種は抗生物質耐性の肺炎球菌感染症の有意な減少を示した。

不活化ポリオワクチン (IPV)



ポリオは主に5歳未満の小児がかかり、身体障害を伴い死の可能性もあるウイルス性疾患で、汚染された食べ物や水によって伝播する。衛生設備が悪い地域ではウイルスは汚染された食べ物や水によって簡単に広がる。200人に1人は主に脚に回復不能の麻痺を起こす。麻痺が起こった患者の5~10%は呼吸に必要な筋肉が動かなくなると死亡する。ポリオには治療法はなく予防接種によって予防するしかない。

ジフテリア・破傷風・百日咳 (DTP) 追加接種



ジフテリア・百日咳・破傷風混合ワクチンの追加接種は12~24ヵ月、4~7歳、9~5歳に接種する。3回の追加接種は最初の年に投与された1期の効果を強め継続的に3種の疾患を予防する。

日本脳炎 (JE)



アジア各地でウイルスを保有した蚊によって感染する脳炎で死亡率は30%にもなり生存者の50%までもが永久的な障害が残る。

Gaviが支援するワクチンが有効な疾患

5種混合ワクチン



5種混合ワクチンは5つの主な感染症（ジフテリア、破傷風、百日咳、B型肝炎、ヘモフィルス・インフルエンザ菌B型（Hib））を予防する。

ジフテリア

細菌感染症で直接の身体的接触またはエアゾル化した分泌物を吸い込むことによって感染する。発生した毒素は呼吸困難、心不全、麻痺や死をもたらす。

破傷風

土壌、ほこり、肥料など環境に自然に存在する芽胞に直接接触することによって広まる細菌性感染症で、傷口または汚染された物質から体内に入る。完全な予防接種を受けていない人すべてが破傷風に感染するが、適切な無菌管理がなされていない家での出産の際、新生児と母親の感染リスクが特に高い。破傷風は緊急の治療が必要で死に至ることもある。新生児の破傷風はほとんどの場合、死に至る。

百日咳

百日咳は感染力の強い、細菌による呼吸器感染症である。百日咳はすべての年齢の人に感染する可能性があるが、1歳未満の乳児には非常に深刻であり、致命的ですらある。

B型肝炎

血液や体液で感染するウイルス性疾患。慢性のB型肝炎の感染症は肝硬変や肝がんなどの重篤な健康問題になることもある。B型肝炎は肝がんの主な原因でありHIVよりも50倍も感染力が強い。

ヘモフィルス・インフルエンザ菌B型（Hib）

主に5歳未満の乳幼児のみが、感染した呼吸器の飛沫によって感染する細菌性感染症で、重篤な肺炎、髄膜炎、他の侵襲性疾患の原因である。生存者の多くには麻痺、難聴、学習障害が残る。

狂犬病



中枢神経系に感染するウイルス性疾患である狂犬病は、治療をしないと100%死に至る。擦過や咬傷から感染した動物（通常、犬）の唾液によりヒトに感染する。狂犬病はイヌの予防接種と、狂犬病免疫グロブリンとヒトワクチンを含むヒトへの暴露後予防を組み合わせることで100%予防できる。

ロタウイルス感染症



感染者から特に乳児や小児など感染しやすい個人に簡単に広がるウイルス性感染症である。症状は多くの場合嘔吐を伴う重篤な水様性の下痢や発熱、腹痛である。重症な場合、小児は脱水症状から死亡する危険性がある。ロタウイルスワクチンは致命的な下痢から小児を守る。

風疹



感染経路は麻疹に似ているが通常は麻疹ほど症状はひどくない。ただし、受胎直前や妊娠初期の感染は先天性風疹症候群（CRS）として知られている流産、胎児死亡、先天性異常を起こすこともある。

腸チフス



汚染された食べ物や水によって広がり、主に発展途上国で発症する死に至る可能性のあるチフス菌（*Salmonella typhi*）による細菌性感染症である。薬剤耐性細菌の驚くべき増加は、予防、ワクチンの役割に加え、よりよい衛生設備へのアクセスの増加、清浄な水、治療の重要性を強調している。

黄熱病



感染した蚊によって媒介されるウイルス性疾患である。感染者がウイルスを人口密度が高く蚊の密度も高く集団免疫力が低い地域に持ち込むと黄熱病が大流行する可能性がある。一部の患者に黄疸がみられることから黄熱病と命名された。ウイルスに感染した患者のごく一部が重篤な症状を呈し、その約半数が7日から10日以内に死亡する。

国の需要を満たすための支出

2016-2020	キャッシュフロー (100万米ドル)	2021-2025			
総額 100万米ドル	プログラム	既存のプログラム	将来的需要	総額 (100万米 ドル)	総支出に対する割合 (%)
	ワクチン				
2,402	肺炎球菌	1,141	163	1,304	13.9%
544	5種混合ワクチン	348	0	348	3.7%
668	ロタウイルス	497	60	558	6.0%
206	ヒトパピローマウイルス	159	358	516	5.5%
263	黄熱病	58	366	424	4.5%
376	麻疹と風疹	22	271	294	3.1%
41	チフス	0	302	302	3.2%
20	エボラ	0	150	150	1.6%
77	感染症流行対策イノベーション連合 (CEPI)	0	0	0	0.0%
133	コレラ	0	32	32	0.3%
169	A型髄膜炎	32	83	115	1.2%
9	日本脳炎	2	8	9	0.1%
39	その他	55	0	55	0.6%
46	ワクチン投資戦略に含まれるその他のワクチン	0	360	360	3.8%
495	不活性化ポリオ・ワクチン	800	0	800	8.6%
5,488	ワクチンプログラム合計	3,114	2,153	5,267	56.3%
0	移行国支援の制度化と中所得国のサポート	281	281	5,267	3.0%
2,161	現金による補助金の支援	53	1,678	1,731	18.5%
951	パートナーの参加枠組みと運営費	913	-	913	9.8%
613	運営費	659	-	659	7.0%
3,725	予防接種システムおよび 基盤の強化	1,625	1,678	3,302	35.3%
9,123	理事会で承認された総プログラムと費用	4,739	4,112	8,851	94.7%
**	理事会の戦略的投資	-	-	500	5.3%
9,213	理事会で承認された総プログラムと費用と戦略的 投資	-	-	9,351	100.0%

94億米ドル

**2016-2020年の当初の投資事例には、5億米ドルの戦略的投資が含まれていた。最新の予測ではインド、エボラや麻疹・風疹など新しいプログラムが個々のプログラム行内に含まれる。

備考:

1-2019年6月時点の財務予測に基づく

各国のGaviワクチンの推定需要（地域、不安定な状況、IDA資格別）

1年ごとのプログラムに基づく（現金流入に基づかない）	2021-2025	
	100万米ドル	
アフリカ	3,328	69%
東地中海	731	15%
東南アジア	591	12%
西太平洋	94	2%
ヨーロッパ	51	1%
米州	34	1%
総額	4,829	100%
	100万米ドル	
不安定な状況による分類		
不安定	1,047	22%
不安定でない	3,782	78%
総額	4,829	100%
	100万米ドル	
IDA資格別		
有IDA資格	4,640	96%
IDA資格無し	189	4%
総額	4,829	100%
	100万米ドル	
国によらない費用		
VIS	360	
エボラ	150	
備蓄	121	
管理の調整（陽チフス）	-120	
総額	5,340	

2021~2025年における国別のGaviワクチンの推定需要

1年ごとのプログラムに基づく
(現金流入に基づかない)

2021-2025

100万米ドル	
アフリカ地域	3,328 69%
アンゴラ	17
ベニン	42
ブルキナファソ	99
ブルンジ	32
カメルーン	56
中央アフリカ	15
チャド	41
コモロ	2
コンゴ民主共和国	413
コンゴ共和国	3
コートジボワール	46
エリトリア	11
エチオピア	468
ガンビア	9
ガーナ	48
ギニア	39
ギニアビサウ	7
ケニア	127
レソト	4
リベリア	22
マダガスカル	121
マラウイ	85
マリ	108
モーリタニア	18
モザンビーク	134
ニジェール	136
ナイジェリア	374
ルワンダ	37
サントメ・プリンシペ	0
セネガル	49
シエラレオネ	20
南スーダン	46
タンザニア	241
トーゴ	40
ウガンダ	287
ザンビア	72
ジンバブエ	60

100万米ドル	
東地中海地方	731 15%
アフガニスタン	121
ジブチ	2
パキスタン	440
ソマリア	18
スーダン	72
イエメン	78

100万米ドル	
東南アジア地域	591 12%
ングラデシュ	329
ブータン	0.2
インド	30
インドネシア	60
北朝鮮	32
ミャンマー	71
ネパール	67
スリランカ	2
東ティモール	1

100万米ドル	
西太平洋地域	94 2%
カンボジア	40
キリバス	0.04
ラオス	7
モンゴル	1
バブアニューギニア	3
ソロモン諸島	0.5
ベトナム	42

100万米ドル	
ヨーロッパの地域	51 1%
アルメニア	0.5
アゼルバイジャン	2
キルギスタン	13
モルドバ	0.5
タジキスタン	26
ウズベキスタン	9

100万米ドル	
米州地域	34 1%
ボリビア	3
キューバ	1
ガイアナ	0.2
ハイチ	25
ホンジュラス	2
ニカラグア	2

総額 (100万米ドル)	4,829 100%
---------------------	-------------------

上記の国レベルの数字は備蓄や現金資金の額や他の時期的な調整を含まない。

特定国を対象としない費用	
VIS	360
エボラ	150
備蓄	121
管理の調整(賜子フス)	-120
総額	5,340

備考:

1 - キャッシュフロー相当額5,267百万米ドル。

2 - 2019年6月時点の財務予測に基づく。

2021～2025年のGaviの確定資金

2019年3月31日までに行われた2021年から2025年までのGaviとIFFImへの誓約を含む。

すべての支援額の単位は100万米ドル

ドナー 独立ドナーとビル&メリンダ・ゲイツ財団	寄付・誓約 ¹											
	2000-2020				2016-2020				2021-2025			
	直接	AMC	IFFIm	総額	直接 ²	AMC	IFFIm	総額	直接 ²	AMC	IFFIm	総額
オーストラリア	429	-	112	541	158	-	83	241	-	-	74	74
ビル&メリンダ・ゲイツ財団	4,049	50	-	4,099	1,550	-	-	1,550	-	-	-	-
ブラジル	-	-	3	3	-	-	3	3	-	-	5	5
カナダ	681	200	-	881	410	-	-	410	-	-	-	-
中国	5	-	-	5	5	-	-	5	-	-	-	-
デンマーク	57	-	-	57	12	-	-	12	9	-	-	9
欧州委員会 (EC)	342	-	-	342	250	-	-	250	-	-	-	-
フランス	255	-	884	1,139	109	-	386	495	-	-	658	658
ドイツ	912	-	-	912	704	-	-	704	-	-	-	-
アイスランド	1	-	-	1	1	-	-	1	-	-	-	-
インド	12	-	-	12	9	-	-	9	-	-	-	-
アイルランド	63	-	-	63	17	-	-	17	-	-	-	-
イタリア	118	635	399	1,152	118	211	140	468	-	-	175	175
日本	148	-	-	148	95	-	-	95	-	-	-	-
サウジアラビア	23	-	-	23	23	-	-	23	3	-	-	3
クウェート	1	-	-	1	1	-	-	1	-	-	-	-
ルクセンブルク	16	-	-	16	5	-	-	5	-	-	-	-
モナコ	1	-	-	1	1	-	-	1	-	-	-	-
オランダ	587	-	168	755	223	-	83	306	-	-	-	-
ノルウェー	1,916	50	236	2,202	778	-	102	880	-	-	-	-
オマーン	3	-	-	3	3	-	-	3	-	-	-	-
カタール	10	-	-	10	10	-	-	10	-	-	-	-
韓国	29	-	-	29	22	-	-	22	5	-	-	5
ロシア連邦	-	80	-	80	-	32	-	32	-	-	-	-
南アフリカ	-	-	11	11	-	-	4	4	-	-	5	5
スペイン	43	-	159	202	-	-	51	51	-	-	60	60
スウェーデン	564	-	30	594	187	-	10	197	-	-	3	3
スイス	2	-	-	2	2	-	-	2	-	-	-	-
英国	3,000	485	1,445	4,930	1,378	146	706	2,230	-	-	1,013	1,013
米国	2,470	-	-	2,470	1,090	-	-	1,090	-	-	-	-
独立ドナーとビル&メリンダ・ゲイツ財団	15,738	1,500	3,447	20,685	7,159	388	1,568	9,115	16	-	1,993	2,009
民間部門 総額	244	-	-	244	78	-	-	78	-	-	-	-
総額 誓約	15,983	1,500	3,447	20,930	7,237	388	1,568	9,193	16	-	1,993	2,009

次頁の支援金の表は上記の表のとおり誓約されたGaviが受け取る予定の金額を示す。

備考:

1- 支援金の単位は100万米ドル相当でこれは誓約に署名されたときの過去の為替換率を使って計算された。

2021～2025年のGaviの確定資金

2019年3月31日までに行われた2021年から2025年までのGaviへの誓約からの利益。

すべての支援額の単位は100万米ドル

ドナー 独立ドナーとビル&メリンダ・ゲイツ財団	Gaviの資金											
	2000-2020				2016-2020				2021-2025			
	直接	AMC	IFFIm	総額	直接 ²	AMC	IFFIm	総額	直接 ²	AMC	IFFIm	総額
オーストラリア	429		116	545	158	-	78	237	-	-	35	35
ビル&メリンダ・ゲイツ財団	4,049	50	-	4,099	1,550	6	-	1,556	-	-	-	-
ブラジル			10	10	-	-	10	10	-	-	7	7
カナダ	681	200	-	881	410	26	-	435	-	-	-	-
中国	5		-	5	5	-	-	5	-	-	-	-
デンマーク	57		-	57	12	-	-	12	9	-	-	9
欧州委員会 (EC)	342		-	342	250	-	-	250	-	-	-	-
フランス	255		1,082	1,338	135	-	398	533	-	-	265	265
ドイツ	912		-	912	688	-	-	688	-	-	-	-
アイスランド	1		-	1	1	-	-	1	-	-	-	-
インド	12		-	12	9	-	-	9	-	-	-	-
アイルランド	63		-	63	17	-	-	17	-	-	-	-
イタリア	118	635	373	1,126	118	265	101	484	-	-	61	61
日本	148		-	148	95	-	-	95	-	-	-	-
サウジアラビア	23		-	23	23	-	-	23	3	-	-	3
クウェート	1		-	1	1	-	-	1	-	-	-	-
ルクセンブルク	16		-	16	5	-	-	5	-	-	-	-
モナコ	1		-	1	1	-	-	1	-	-	-	-
オランダ	587		135	722	223	-	73	296	-	-	4	4
ノルウェー	1,916	50	177	2,143	778	6	41	826	-	-	5	5
オマーン	3		-	3	2	-	-	2	-	-	-	-
カタール	10		-	10	10	-	-	10	-	-	-	-
韓国	29		-	29	22	-	-	22	5	-	-	5
ロシア連邦		80	-	80	-	38	-	38	-	-	-	-
南アフリカ			11	11	-	-	3	3	-	-	2	2
スペイン	43		138	181	-	-	33	33	-	-	21	21
スウェーデン	564		22	586	187	-	5	191	-	-	1	1
スイス	2		-	2	2	-	-	2	-	-	-	-
英国	3,000	485	1,725	5,211	1,378	189	572	2,138	-	-	360	360
米国	2,470		-	2,470	1,090	-	-	1,090	-	-	-	-
独立ドナーとビル&メリンダ・ゲイツ財団	15,738	1,500	3,791	21,029	7,167	530	1,314	9,011	16	-	761	777
民間部門 総額	244		-	244	78	-	-	78	-	-	-	-
総額 誓約	15,983	1,500	3,791	21,274	7,245	530	1,314	9,090	16	-	761	777
予測調整	-	-	-	-	-62	-	-	-62	-	-	-	-
IFFIm戦略的繰り延べ ⁵	-	-	-714	-714	-	-	-714	-714	-	-	714	714
総額 誓約 (純益)	15,983	1,500	3,077	20,560	7,183	530	600	8,313	16	-	1,475	1,491

投資収益 (保守的な予測)	232	125
現金および投資準備金からの移動	370	392
IPVIに充てられた資金 ⁶	268	
その他 ⁷	111	37

確定資金	9,294	2,000
	93億ドル	20億ドル
	(2016～2020年)	(2021年～2025年)

備考:

1 - 一部の寄付金は誓約が署名された年と異なる年にGaviが受け取ることがある。

2 - 直接の寄付はマッチング・ファンドからの寄付も含む。

3 - 現物出資は上記の民間部門の総額に含まれない。

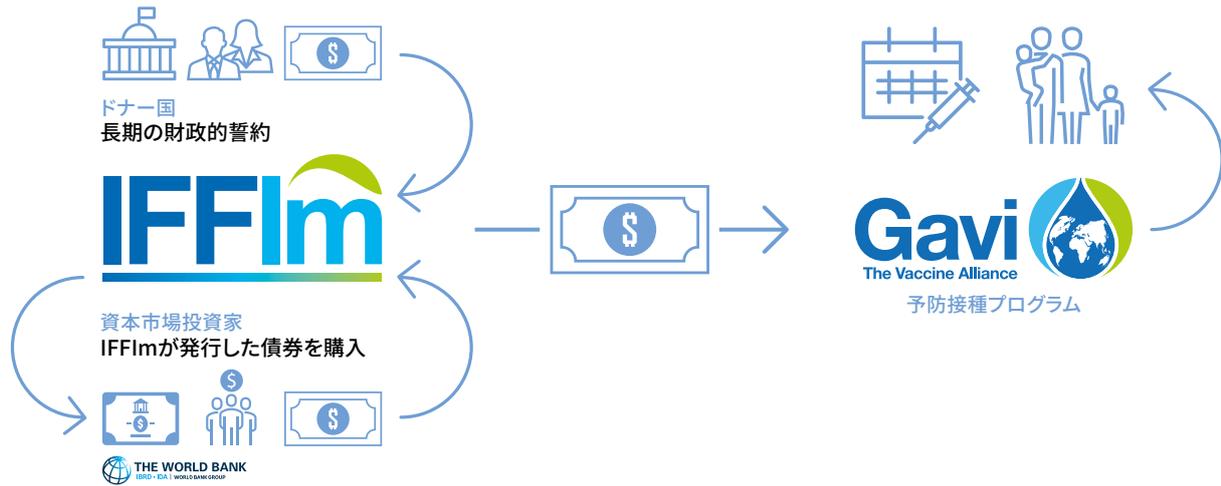
4 - 2019年3月31日の為替換率を使用。

5 - 戦略的繰り延べは最初は今期の戦略期間に支払う予定だったIFFImの収益が次の戦略期間に新たに分配されたことを指す。負の数字は次の戦略的期間に支払われる資金の増加を示し、正の数字はその年の支払いで前回繰り延べられた分配を指す。戦略期間中の各国からのIFFIm拠出金に対する修正再表示の可能性は2020年の第3四半期に考慮されることがある。

6 - ビル&メリンダ・ゲイツ財団、ノルウェー、英国から2019年に受け取った資金でIPVIに充てられる。

7 - その他: 2019年にノルウェーから提供された7700万米ドル (NOK 6億) のCEPI資金を含む。

IFFImとワクチン債



ワクチン債

予防接種のための国際金融ファシリティ (IFFIm) は、ドナー国からの長期に渡る出資の誓約を基に資本市場でワクチン債を売ることによってGaviが直ちに使える資金を調達する。IFFImは2006年に設立され、ドナー国から最長20年間にわたって、法的拘束力のある資金誓約を引き出すことのできる史上初の援助資金提供機関である。発展途上国はこのメカニズムにより、自国の予防接種プログラムに対する長期間の予算組みやプランニングを行うことが可能になる。

既存支援の強化

IFFImはGaviの財政状況を一変させ、IFFIm設立の最初の1年でGaviの予防接種プログラムへの資金をほぼ倍増した。IFFImは、ドナー国であるオーストラリア、ブラジル、フランス、イタリア、オランダ、ノルウェー、南アフリカ、スペイン、スウェーデン、英国から30年超にわたり65億米ドルを資金調達した。

これらの長期の誓約はワクチン債・スクーク(イスラム債)の発行を支援する。これらの債券は様々な市場で多様の通貨で発行され、市場からの財務利益を追求し倫理的な投資機会を求めている機関投資家・個人投資家の間で非常によく受け止められている。

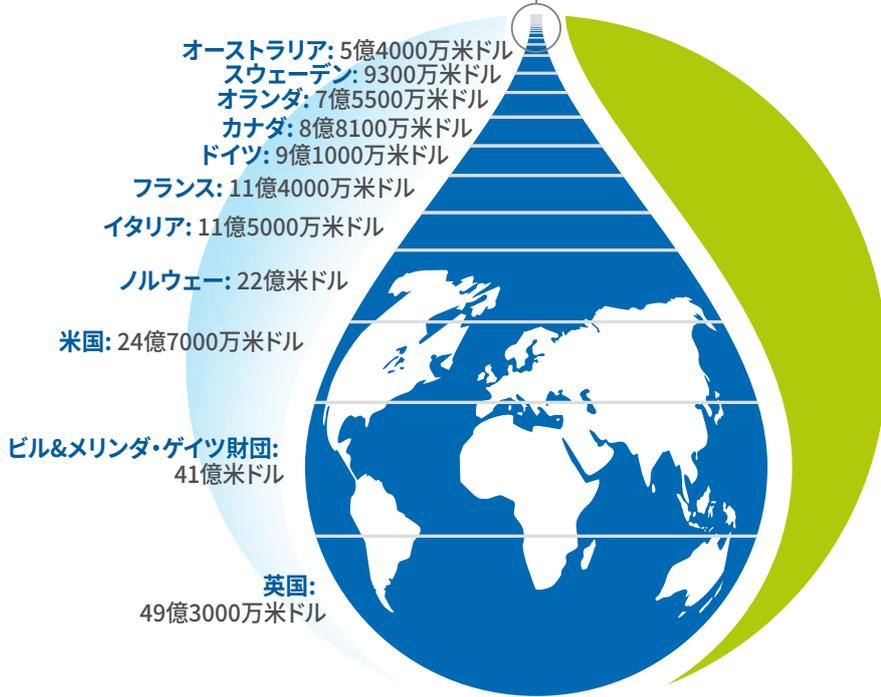
世界銀行を財務マネージャーとして、IFFImは2006年から2018年の間にドナー国の誓約を通じて60億米ドル超を調達した。

IFFImが存在することによってドナー国から資金を受け取る前に8,000万の子どもたちが予防接種を受けることができた。IFFImは例えば緊急な状況のとき、一定の期間に渡り必要に応じて資金を柔軟に動かすことを可能にし、政府の予算を優先事(例えばCoalition for Epidemic Preparedness [CEPI: 感染症流行対策イノベーション連合]の必須な仕事)に使用した後、通貨変動を避け時間をかけてより円滑にこの費用を支払うことを可能にする。

Gaviのドナー

2000~2020年のドナーからの寄付金および誓約金の総計

209億ドル



注:
2019年6月30日現在の数値。現物出資はこの図には含まれていない。一部は、予防接種のための国際金融ファシリティおよびワクチンの事前購入制度からの資金調達を通じて提供。2019年6月30日現在の為替レート。

欧州委員会:	3億4000万米ドル
スペイン:	2億200万米ドル
日本:	1億4900万米ドル
ロシア連邦:	8000万米ドル
アイルランド:	6200万米ドル
デンマーク:	5700万米ドル
ムハンマド・ビン・ザーイド・アール・ナヒヤーン皇太子:	3800万米ドル
ラカイシャ財団:	3700万米ドル
ザ・チルドレンズ・インベストメント・ファンド財団:	3200万米ドル
その他のドナー:	3200万米ドル
ライオンズクラブ国際協会:	3000万米ドル
大韓民国:	2900万米ドル

コミックリリーフ:	2800万米ドル
サウジアラビア:	2300万米ドル
ルクセンブルク:	1700万米ドル
インド:	1200万米ドル
南アフリカ:	1200万米ドル
LDSチャリティー:	1100万米ドル
カタール:	1000万米ドル
Audacious Alliance:	900万ドル
Red Nose Day Fund:	700万米ドル
中国:	500万米ドル
Girl Effect:	400万米ドル
マスターカード:	400万米ドル
ELMA Vaccines and Immunization Foundation:	400万米ドル
ユニリーバ:	300万米ドル

オマーン:	300万米ドル
ブラジル:	300万米ドル
スイス:	200万米ドル
国際医薬品卸連盟:	200万米ドル
招商局慈善基金会:	200万米ドル
UBA Foundation:	200万米ドル
レキットベンキーズグループ:	100万米ドル
Al Ansari Exchange:	100万米ドル
アルフリード・フィランソロピー:	100万米ドル
アイスランド:	100万米ドル
クウェート:	100万米ドル
モナコ公国:	60万米ドル

援助国政府と欧州委員会

オーストラリア、ブラジル、カナダ、デンマーク、欧州委員会、フランス、ドイツ、アイスランド、インド、アイルランド、イタリア、日本、サウジアラビア王国、ルクセンブルク、オランダ、ノルウェー、中華人民共和国、モナコ公国、大韓民国、ロシア連邦、南アフリカ、スペイン、カタール、オマーン王国、スウェーデン、スイス、英国、米国

財団、組織、企業

アルフリード・フィランソロピー、Absolute Return for Kids、ActionAid International、Af Jochnick Foundation、Al Ansari Exchange、アングロ・アメリカン、Audacious Alliance、ビル&メリンダ・ゲイツ財団 Botnar財団、ザ・チルドレンズ・インベストメント・ファンド財団 招商局集団、コミックリリーフドイツポスト DHL、オランダ宝くじ、ELMA Vaccines and Immunization Foundation、Girl Effect、Gogel Family Foundation、グーグル・ドット・オーグ、Gulf Youth Alliance、ムハンマド・ビン・ザーイド・アール・ナヒヤーン皇太子 JP モルガン、IKARE Limited、国際医薬品卸連盟 アラブ経済開発クウェート基金、ラカイシャ財団 LDSチャリティー、ライオンズクラブ国際協会 マスターカード、Majid Al Futtaim、石油輸出国機構国際開発基金、Orange フィリップス、レキットベンキーズ、Red Nose Day Fund、Swedish Postcode Foundation、テンセントホールディングス、UBA Foundation、ユニリーバ、UPS、Unorthodox Philanthropies、ボーダフォン

追加的な情報

Gavi 理事会:

www.gavi.org/about/governance/gavi-board/

Gaviの資金調達について

<http://www.gavi.org/funding/how-gavi-is-funded/resource-mobilisation-process/>

ドナーの寄付と誓約

www.gavi.org/funding/donor-contributions-pledges/

Gaviのドナーの紹介

www.gavi.org/funding/donor-profiles/

Gavi中間レビュー

<https://www.gavi.org/library/publications/gavi/gavi-2016-2020-mid-term-review-report/>

Gavi支援国情報

Gaviが支援する国の詳細な情報
<http://www.gavi.org/country>

Gavi事務局幹部

www.gavi.org/about/governance/secretariat/

透明性と説明責任の方針

www.gavi.org/about/governance/programme-policies/tap/

財務報告書

www.gavi.org/funding/financial-reports/

付録

本パンフレットで使用されたインパクト推定の方法論

www.gavi.org/investment-case-technical-appendix/



www.gavi.org
ともに力を合わせ、
ワクチンを届けよう #vaccineswork

@gavi @gavi_fr @vaccines
facebook.com/gavi
linkedin.com/company/gavi